

小学校上級用

イエスさまと11つしよ

教師用

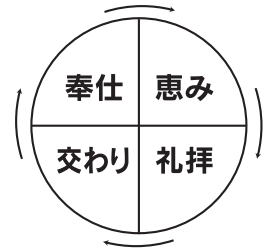


聖書 **9** 物語

さあ グレースリンクで学びましょう

上級生の教課はグレースリンクとよばれるカリキュラムで構成されています。このサイクルがうまくまわっていくことにより、子どもたちが成長過程において神様の福音をもっと体験できるように意図されています。

- 「恵み」……神様からあふれる愛をいただく
- 「礼拝」……その愛に応答する
- 「交わり」……いただいた愛を分け合う
- 「奉仕」……その愛をもって神様に、人々に仕えていく



◆目次◆

奉 仕

私たちは家庭から奉仕を始めます

- 1 わたしたちの家においでください! 8
- 2 福音を伝える人 12
- 3 にげ出した青年 16
- 4 上着を持ってきてください 20

恵 み

神様は約束を守ってくださいます

- 5 ゆるしの火 24
- 6 もどった時間 28
- 7 ねん土のつぼ 32
- 8 力強い建築者たち 36
- 9 神さまは約束を守られる 40

礼 拝

礼拝によってイエス様への愛を分かち合います

- 10 話せなくなった男 44
- 11 話したくて待ちきれない! 48
- 12 あなたにも聞こえますか? 52
- 13 その喜びを伝えなさい 56

- 解答集 60

◆新しい教課をいかすのはあなたの熱意と祈り、そしてよい準備です◆

ポイント1◆ 最初から分級が理想

子どもたちは、初め大人と一緒に安息日学校に出席し、それから分級という教会も多いと思いますが、最初から子どもたちのために大人と別のクラス、それも下級と上級別クラスを持つことをお勧めします。年齢差によって生じる問題を回避し、また、初めて教会に来た子どもたちのためにも対応しやすくなります。教室や教師の都合で難しいところもあると思いますが、分級できるように努力してみてください。

ポイント2◆ テーマを1つに

その週のテーマを1つにしぼり、朝のあいさつから歌、ゲーム、工作から最後の適用までそのテーマで統一してください。子どもたちがその課のテーマを理解することが容易になります。教師は前もって内容をよく読んで把握することはもちろん、それをどう適用するか祈りのうちに自らの生活に適用していくことも必要です。

ポイント3◆ 個人的関心を示す時間を

まず子どもを知ることにつとめましょう。子どもの名前、愛称も一緒に覚えましょう。そしてその子の家族や友だちとの関係、徐々に子どもの内面的な必要へと心配りをしていきます。このために、プログラムの始まる前に歓迎の時間を持ちましょう。最近の出来事や感じたことなどを個人的に話す時間を持ってください。個人的に話すことによって子どもたちが自分では受容されていると感ずることができ、子どもたちもこの時間によって定刻前に出席することを楽しみにするようになります。

ポイント4◆ プログラムで子どもにも役割を

献金集めやお祈りを子どもたちに順番で担当させることもできるでしょう。ただ恥ずかしがりやの子どもやお祈りに慣れていない子どもに対する配慮は十分にしてください。

ポイント5◆ 歌やゲームで変化を

各期のテーマソングは教課のうしろに掲載されています(下・上級共通)。その他にガイドブックにはその課の歌が紹介されています。ただし、毎週新しい歌を覚えなければならぬということはありません。特に下級生の場合は、長時間じっとしているのがなかなか難しいものです。お話の前に動きのある歌やゲームを挿入することによって、めりはりのあるプログラムを計画してみましょう。

ポイント6◆ 伝道地便りを工夫して

献金の前には、その期の伝道地に関する短い情報(写真を見せたり地図や地球儀で位置を確認させたりする程度でよい)を提供し、関心を持たせましょう。教団発行の伝道地便り子ども版のお話を単に読みあげる必要はありません。ポイントだけをわかりやすく話すか、時間によっては省略してもかまいません。

ポイント7◆ 暗唱聖句の覚え方にも工夫を

あらかじめ覚えてきてもらう方法と、その場で覚えさせる方法と、どちらでも適当と思われる方を採用してください。初めて教会に来る子どもがいる場合や、両親が教会員でない子どもの方が多い場合などは、その場で覚える方法の方が、その子どもたちが疎外感や劣等感を感ずずにすみます。

暗記が楽しくなるような活動を用いると、子どもたちは驚くほど短時間に聖句を覚えることができます。聖句を誰もが知っているメロディーにのせて覚える方法や、輪唱して覚える方法など工夫してみてください。

ポイント8◆**聖書物語はポイントをしばって**

物語をただ単に読み上げるだけでは時間がいくらあっても足りません。教師の努力で短くまとめてください。あとは子どもたちが自宅で、また終わった後の礼拝の時間に教課を読むことにより復習することができます。教師が強調したいことを視聴覚教材を使って10分以内にまとめてみてください。教課をまる読みすることは避けましょう。

ポイント9◆ 適用に力を入れて

このプログラムの1番重要な時間は適用の時間です。新しいガイドブックには数種類の話し合いのための内容例が記載されています。その中から時間に合わせて選択してみてください。

適用は表現活動の時間とも考えることができます。話し合うことはもちろん、そのテーマからヒントを得て、教師が準備してきたゲームや視聴覚教材を使った学びをするのもよいでしょう。下級生はこの時間にワークブックの工作をしましょう。また教課に記載されているパズルを一緒にしてもいいでしょう。ただし全部しなければならぬというわけではありません。教師があらかじめ、時間配分を計算して、時間内でできるものを選んでください。

工作やパズルが時間内に終わらない場合は、礼拝や午後の時間に、または家でやらせるという方法もできます。

事前にワークブックに目を通し、実際に作製してみることも忘れずに。

ポイント10◆ 教案計画表を作りましょう

できれば教師は教案計画表を作って毎週書き込みましょう。あらかじめ、時間配分等を頭に入れて準備することにより、話だけで終わってしまったとか、時間が余ってしかたなくゲームをしたという、その場しのぎのプログラムはなくなります。統一したプログラムによって進められ、目標がはっきり設定されることによって効果をあげることができます。そして終わったあとにはその日の感想や反省点などを書き込んでおくと複数の教師が交代である場合の参考になると思います。

ポイント11◆ 休んだ子どもに対しての早めのフォローを忘れずに

葉書を出したり、電話をかけたりしましょう。これらをすることで子どもは教会が自分に関心があることを感じます。

ポイント12◆ 柔軟なプログラムを

ここにはプログラムの一例を挙げましたが、それぞれの教会の現状に合わせてプログラムは柔軟に対応してください。こうでなければならぬというきまりはありません。特に子どものクラスが教課の時間だけに限定される場合など、ポイントの中からピックアップして時間配分を考えましょう。

9:15	歓迎 出席
9:30	あいさつ テーマソング 初めの祈り 献金 歌やゲーム
9:50	聖書物語 (バイブル・レッスン)
10:00	聖書物語の適用 視聴覚教材 ゲーム 話し合い ワークブックなど 新しい教課ではこの時間に 1番重点を置いています。
10:30	歌 終わりの祈り、礼拝へ移動

1 ◆教師ガイドの概要

◇第1課から第4課までは、家で仕えることを学びます

- * 私たちが人々を家に招くとき、私たちは神様にお仕えしています。
- * 私たちが人々を喜んで助けるとき、私たちは神様にお仕えしています。
- * 私たちは家でイエス様にお仕えすることができます。
- * 神様にお仕えしている人々を助けるとき、私たちも神様にお仕えしています。

◇第5課から第9課までは、神様が約束を守ってくださることを学びます。

- * 神様の恵みによって私たちの罪はゆるされます。
- * 私たちは、約束を守ってくださる神様に信頼することができます。
- * 神様は、み手の中で私たちを形造ってくださいます。
- * 神様は、私たちがみ心を行うことができるように、恵みと力を与えてくださいます。
- * 神様は約束を守られます。なぜなら聖書の預言は、必ずそのとおりになるからです。

◇第10課から第13課までは、私たちが神様の家族であることを学びます。

- * 私たちが神様のすばらしさと愛を人々に語る時、私たちは神様を礼拝しています。
- * 私たちが神様への愛を人々に語る時、私たちは神様を礼拝しています。
- * 私たちがイエス様の福音に耳を傾けると、私たちは神様を礼拝しています。
- * 私たちがイエス様のことを喜んで人々に語る時、私たちは神様を礼拝しています。

◇神様の恵み。恵みという言葉により、神様がそれを受けるに値しない私たちにも、愛を与えてくださることを理解することができます。

- * 神様が私たちの罪の犠牲としてイエス・キリストを遣わされた愛も、神様の恵みです。
- * 私たちにその犠牲を受け入れるようにと勧めてくださる愛も、神様の恵みです。
- * 私たちが賛美と礼拝によって応えるように励ましてくださる愛も、神様の恵みです。
- * 神様が私たちになさるのとちょうど同じように、私たちがお互いに愛と尊敬の念を持って接することができるように、知恵と力を与えてくださる愛も、神様の恵みです。

さあ、あなたもグレースリンクで学びましょう。神様の恵み（グレース）は、まさに力です。限りない力、確かな力、永遠の力です。この力は、あなたの所にも届き、あなたが神様と共に満たされたすばらしい人生を生きるために、必要な物をすべて与えてくれるのです。

2◆指導される先生方へ

このガイドの目的は、次の通りです。

- *安息日に次週のテーマを与え、生徒たちが1週間でそのテーマを学んでこられるようにします。
- *安息日学校での聖書物語の時間は、1つのメッセージ、神様の恵みのある1つのポイントに焦点を当てます。そして、その恵みに対して実生活でどのように応答できるか、考える機会を与えてください。恵みによって、私たちがお互いに愛し合い、助け合うこと、また神様が愛をもってお造りになり、支えておられるこの世界への奉仕が、どんなにすばらしいかを学ぶことに、主眼を置くようにします。
- *状況に応じて、一番学びやすいプログラムを工夫してください。基本的に次の順序で書かれています。
 1. **バイブルレッスン** (何を学ばなければならないの?)
 2. **学ぼう・考えよう**
(これは私の生活にどういうふうに役立つの?)
学んだことを他の人と分かち合うにはどうすればいいの?)
 3. **おわりに** (祈り)
 本書に提案されていることはすべてやらなければならない、というわけではありません。この中から選択したり、他の活動（工作、賛美、ゲームなど）を工夫して入れましょう。提案されている部屋の装飾、歌も、柔軟に用いてください。なお、巻末には教課本文の質問、解答もあります。参考にしてください。
- *生徒たちが、クラスで学んだ真理を自分の物にするのを助けるため、生徒参加型のクラスを持つことをお勧めします。学んだことを実生活に生かせるように導いてください。質問に対する答えは、「これだけが正解」という指導ではなく、たとえ間違っただとしても、その子どもの個性を尊重し、話し合しましょう。
- *大人のスタッフが、柔軟なやり方で安息日学校に参加できるようにしてください。小さな安息日学校なら、教師1人で運営できるでしょう。やや大

きめの安息日学校であれば、指導者または教師1人と有志の大人数人で、小さなグループ（3、4人が理想ですが、クラスのサイズによって柔軟に対応してください）に分けて活動することができます。こうすることにより、グループを引率する大人が準備する負担を最小限にし、かつ生徒たちと最大限にかかわり合うことができます。

3◆このガイドの使い方

前もって参照し、よい準備の助けとしてください。また、必要な教材をそろえてください。各期が始まる前に、いつも使う物を準備しておきましょう。たとえば、

- * 聖書
- * 新聞紙やクラフト紙などの大きな紙、または掲示板
- * A4の大きさの紙
- * 鉛筆、ペン、マーカー、クレヨン、色鉛筆など
- * その他、よく使う文房具（のり、はさみなど）

4◆参考資料

◇参考書

- ・『キリストの実物教訓』（エレン・G・ホワイト 福音社）
- ・『イラスト早わかり聖書ガイドブック』（F. ブランケンハイカー CS成長センター）
- ・『人類のあけぼの』〈上、下〉（エレン・G・ホワイト 福音社）
- ・『各時代の犬争闘』〈下〉（エレン・G・ホワイト 福音社）
- ・『患難から栄光へ』〈上〉（エレン・G・ホワイト 福音社）
- ・『聖書ハンドブック』（ヘンリー・H・ハーレイ 聖書図書刊行会）
- ・『旧約聖書一日一章』（榎本保郎 主婦の友社）
- ・『新約聖書一日一章』（榎本保郎 主婦の友社）

◇歌集

- ・『教会学校さんびか』（インマヌエル総合伝道団）
- ・『プレイズワールド合本』（いのちのことば社）
- ・『リビングプレイズ』（いのちのことば社）
- ・『こどもさんびか』（日本基督教団出版局）
- ・『ノア コレクション Vol. 1』（ノアミュージック・ミニストリー）
- ・『フレンズ』（福音社）
- ・『キッズフレンズ』（福音社）

	聖書の話題	参照箇所	暗唱聖句	メッセージ
奉仕：私たちは家庭から奉仕を始めます				
1	わたしたちの家に おいください!	使 18 章 患難から栄光へ上巻 262-275p	ローマ 12：13	私が入を家を招くとき、私は 神様にお仕えしています。
2	福音を伝える人	2 コリ 2：12、13、 8：16-24、9：1-8、 患難から栄光へ上巻 324、325p	ヨハネ 20：21	私が入を喜んで助けるとき、 私は神様にお仕えしています。
3	にげ出した青年	フィレ 患難から栄光へ下巻 148-152p	エフェソ 6：7	私は家でイエス様にお仕えする ことができます。
4	上着を持ってきて ください	2 テモ 1～4 章 患難から栄光へ下巻 194-205p	ヘブライ 6：10	神様にお仕えしている人々を助 けるとき、私も神様にお仕えし ています。
恵み：神様は約束を守ってくださいます				
5	ゆるしの火	イザ 6 章 国と指導者上巻 268-275p	イザヤ 6：7	神様の恵みによって私の罪はゆる されます。
6	もどった時間	イザ 38：1-21、 王下 20：1-11 国と指導者上巻 303-313p	イザヤ 38：7	私は、約束を守ってくださる神 様に信頼することができます。
7	ねん土のつぼ	エレ 18：1-6 ミニストリー・オブ・ ヒーリング 2005 478-480p	イザヤ 64：7	神様は、み手の中で私を形造つ てくださいます。
8	力強い建築者たち	ネヘ 1-4、6 章、 国と指導者下巻 230-236、254-261p	ネヘミヤ記 2：8	神様は、私がみ心を行うことが できるように、恵みと力を与え てくださいます。
9	神さまは約束を 守られる	ミカ 5：1、マタ 2：6、 イザ 53 章、マコ 15： 22-39、使 1：9-11 各 (上) 283-302p	ヨシユア記 23：14	神様は約束を守られます。なぜ なら聖書の預言は、必ずそのと おりになるからです。
礼拝：礼拝によってイエス様への愛を分かち合います				
10	話せなくなった男	ルカ 1：5-23、57- 80、各時代の希望上巻 95-100p	ルカ 1：68、69	私が入様のすばらしさと愛を 人々に語る時、私は神様を礼 拝しています。
11	話したくて 待ちきれない!	ルカ 1：26-56 各時代の希望上巻 31、32p	ルカ 1：46、47	私が入様への愛を人々に語る時、 私は神様を礼拝しています。
12	あなたにも 聞こえますか?	ルカ 2：1-14 各時代の希望上巻 29- 34p	ルカ 2：14	私が入イエス様の福音に耳を傾け るとき、私は神様を礼拝してい ます。
13	その喜びを 伝えなさい	ルカ 2：15-20 各時代の希望上巻 33- 36p	ルカ 2：17	私が入イエス様のことを喜んで 人々に語る時、私は神様を礼 拝しています。

書名略語：各…『各時代の希望』

私たちは家庭から奉仕を始めます

第1課

**わたしたちの家に
おいでください！**

子どもたちに、
人々を自分の家に招くことも
神様にお仕えする1つの方法
であることを教えます。
お客さまをもてなしたいと感じさせ、
だれかを家に招いて家族ぐるみで
交わりを持つように導きます。

使徒言行録
18章、
『患難から栄光へ』
上巻
262 - 275
ページ参照

■メッセージ■

私が入人を家に招くとき、私は神様にお仕えしています。

◆聖書で学ぶことの要約

アキラとプリスキラの職業はテント造りです。皇帝がすべてのユダヤ人にローマから出ていくよう命令したので、2人はローマからコリントに移りました。パウロがその地にやってくると、2人は彼を家に招き、福音について学びます。パウロは1年半そこで暮らし、一緒にテントを造ると共に、コリントの人々にキリストのことを教えました。アキラとプリスキラはテント造りの仕事をしながら旅を続け、さまざまな土地で福音を広めました。2人がエフェソにいたときは、アポロという人を家に招きました。アポロもイエス様のことを人々に教えていたからです。

◆ここでは、奉仕について学びます。

家に人を招くことは、最高の奉仕です。招いた人たちを歓迎することで、イエス様が彼らを愛し、思いやっておられることがはっきり伝わります。こうして、だれにとっても福音が身近なものとなるのです。

暗唱聖句

「聖なる者たち……を助け、旅人をもてなすよう努めなさい。」
(ローマ 12：13)

◆指導される先生の**参考**のために

『もてなし』に当たるギリシア語はフィロクセニア (philoxenia) で、『他人を愛すること』を意味する。もてなしは、初期の頃からキリスト教徒の美德の中でも大切なものの1つとされていた (テモテ 1・3：2、テトス 1：8、ヘブライ 13：2、ペトロ 1・4：9 参照)。多くの信者が旅をしたり、迫害されたりしていたことを考えれば、これは当然のことである。家や町を追われ、同じ信仰を持つ人たちのもとに身を寄せなければならないクリスチャンは多かった (使徒言行録 8：1、26：11 参照)。初期のキリスト教会において、散り散りになった信者たちの結びつきは、互いにもてなし合うことで強められたのである (『SDA 聖書コメンタリー』第6巻 622 ページ)。

◆教室の**装飾**

アキラとプリスキラとパウロ、テトスとパウロ、オネシモとパウロ、テモテとパウロを表した絵やフェルトを飾ります。それぞれの場面の題も貼っておきましょう。これらの絵やフェルトの上に、「わたしたちにもほう仕ができます」という見出しを掲げます。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ 174
「ともだちはいいもんだ」



1 バイブル・レッスン

準備する物：「お客さんを招いたのはだれでしょう？」の用紙、鉛筆（それぞれ子ども的人数分）

子どもたちに「お客さんを招いたのはだれでしょう？」の用紙を1枚ずつ配ります。

「お客さんを招いたのはだれでしょう？」		
●聖句	●お客さんを招いた人	●招かれた人
ルカ 10：38	_____	_____
列王記下 4：8	_____	_____
創世記 19：1、2	_____	_____
使徒言行録 16：13 - 15	_____	_____
使徒言行録 18：1 - 3	_____	_____
使徒言行録 18：24 - 26	_____	_____

子どもたちに聖句を見つけさせ、だれがだれを家に招いたのか、下線部分に記入させます。必要に応じて手伝います。正解は以下のとおりです。

●聖句	●お客さんを招いた人	●招かれた人
ルカ 10：38	マルタ	イエス様
列王記下 4：8	シュネムの婦人	エリシャ
創世記 19：1、2	ロト	二人のみ使い
使徒言行録 16：13 - 15	リディア	パウロとその一行
使徒言行録 18：1 - 3	アキラとプリスキラ	パウロ
使徒言行録 18：24 - 26	アキラとプリスキラ	アポロ

まとめ

「今調べてもらったこの人たちも、そしてそのほかの大勢の人たちも、お客さんを招くことで神様のために働くことができるのだと分かっていました。これは、みなさんにもできることですよね。だれかを家に招くと、自分が祝福されるのです。どうしてだと思いますか？」（子どもたちの答えを聞きます。）

メッセージを一緒に言いましょ。「私が人々を家に招くとき、私は神様にお仕えしています。」

2 A 学ぼう・考えよう

どうぞ、くつろいでください

準備する物：家にあるもの（花、キャンドル、音楽、石鹸、タオル、家の鍵など）

お客さんがいらっしゃったときに気持ちよく感じてもらえるもの、たとえば上に挙げたようなものを前もって準備し、かごの中に入れておきます。1つ1つの品物について話をし、「では、お客さんにくつろいでもらうには、どうしたらよいのでしょうか？」

と、子どもたちに質問します。みんなが見える所に、出てきたアイデアを書き出しましょう。

質問：

- ①「今までに、家にお客さんがいらっしやって楽しかった思い出のある人は、発表してください。」
- ②「そのとき、お客さんのためにどんなお手伝いをしましたか？」
- ③「そのとき、お客さんに自分の部屋へ来てもらいましたか？」
「だれか食事や泊まる所を探している人に出会ったら、何を思い出さなければいけませんか？ 答えはメッセージですね。」

B おもてなしの計画

準備する物：子どもたちの保護者にあてた食事会の案内状、筆記用具（ペン、鉛筆、マーカーなど）、紙（いずれも子ども的人数分）、はさみ、ドアノブハンガーの型

クラスの状況に応じて、以下の2つのうちのどちらか、あるいは両方の活動を行ってください。

1. 近々、安息日に保護者のみなさんを招いて、食事会を行う計画を立てます。子どもたちに、会場やメニューなどを考えるのを手伝ってもらいます。食事会当日は、招かれた家族に食事をふるまう仕事を子どもたちにやってもらいましょう。先生は、日時と会の主旨を伝えるため、保護者あてに手紙を準備します。
2. 「ようこそ！」と書いたドアノブハンガーのイラストを準備します。(62 ページ) 子どもたちに同じものを作らせ、それを見て他の人を自分の家に招くことの大切さを忘れないようにさせます。だれか招待できる人がいないか考えさせましょう。

質問：

- ①「みなさんの家族に食事をふるまう計画を立てるのは楽しいですか？」(楽しい。当日が楽しみ。楽しくない。)
- ②「今度、自分の家にだれを招きますか？」(答えを聞きます。)
- ③「どんなことをして準備のお手伝いをしますか？ お客さんがいらしたら、何をしますか？」(食事の準備を手伝う。食事のとき、お客さんに給仕する。お客さんが着いたとき、上着を預かる。)

まとめ

メッセージをもう一度言いましょう。「私が人々を家に招くとき、私は神様にお仕えしています。」

3 おわりに

私たちの家が聖霊で満たされ、招かれたお客さんが歓迎されていると感じ、祝福を受けることができますように、とお祈りしてください。



私たちは家庭から奉仕を始めます

第2課

福音を伝える人

子どもたちに、
神様に仕える者はみな、
喜んで人々を助けることを教えます。
物心両面で困っている人に
関心を寄せるようにさせ、
進んで奉仕や寄付を
するように導きます。

コリント2・
2：12、13、
8：16－24、
9：1－8
『患難から栄光へ』
上巻
324、325
ページ参照

■メッセージ■

私が入々を喜んで助けるとき、私は神様にお仕えして
います。

◆聖書で学ぶことの要約

パウロは、コリントの教会のことを心配していたので、手紙を書きました。そして「のちに彼が訪問するときの準備として、テトスをつかわした」（『患難から栄光へ』上巻324ページ）のです。

テトスとパウロはトロアスで会うことになっていました。しかしテトスは現れず、パウロは不安になります。それでも、パウロはマケドニアまで旅を続け、その地でテトスに会うことができました。テトスのコリントでの働きがうまくいったことを知ったパウロは、もう1通の手紙（コリントの信徒への手紙2）をテトスに託して、再度コリントへ送り出します。

◆ここでは、奉仕について学びます。

テトスはパウロと同じように、コリントの教会員たちのことを心配していたので、彼らにあてて書かれたパウロの手紙を喜んで持っていきました。神様は、現代に生きる私たちにも同様のことを求めておられます。すなわち、神様と一緒に他の人たちのことを気にかけて、神様の愛のメッセージを熱心に彼らに伝え、できる限りのことをして助けてあげなさい、と。

暗唱聖句

「……父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」

(ヨハネ 20 : 21)

◆指導される先生の**参考**のために

テトスはパウロの親友で、パウロと共に旅をし、またパウロによって信仰を得ました。パウロは彼を、「信仰を共にするまことの子」と呼んでいます(テトス 1 : 4)。テトスは異邦人で、パウロは、エルサレムのユダヤ人たちを満足させるためだけに、彼に割礼を施すのを拒否しました。テトスはアンティオケアの生まれだと思われています。パウロに反発する人たちがコリント教会の中に現れたとき、彼はパウロの使者となり、和解を実現させました。

テトスはこの他にも、エルサレムの貧しい人たちのために募金を集める仕事も指揮しました。パウロは自分が死ぬ直前にテトスをダルマティアへ伝道に向かわせますが、テトスがその後どうなったかは何も記録が残っていません(『S D A 聖書辞典』第8巻 1128 ページ参照)。

◆教室の**装飾**

第1課を参照。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ 31

「ここに私がおります」



1

1 バイブル・レッスン

聖書の中で、人を思いやったり、助けたりすることが書かれている箇所を、みんなが見える所に前もって書いておきます。

列王記下 4 : 32 - 37 使徒言行録 11 : 22 - 30 ローマ 1 : 6 - 10
 テモテ 1・5 : 4 ヨハネ 11 : 32 - 44 使徒言行録 20 : 21 - 38
 コリント 1・9 : 19 - 23

次の手順で、聖句探し競争をしてください。まず、読むのが得意な子どもとそうでない子どもを2人1組にします。そして、先生の「用意」という声を合図に、子どもたちに聖書を持たせます。先生は、上記の聖句の箇所を言い、続けて「ドン！」と言います。聖句を最初に見つけた子どもが立って、その聖句を読みます。読み終えるたびに、そこには人を思いやったり、助けたりすることについて何と書かれているか、読んだ子どもに説明させます（下記の質問参照）。

質問：

- ① 「聖句探し競争は好きですか？」（好き。嫌い。）
- ② 「人を思いやったり、助けたりすることについて、どんなことが分かりましたか？」（神様は、傷ついたり、苦しんだりしている人たちを思いやっておられる。イエス様が私たちのお手本だ。バルナバは励ますことによって助けた。人を思いやると、今度はその人が思いやりの気持ちを持てる。私たちが思いやっていることをその相手に知らせなければならない。証をすることで思いやりを示すことができる。私たちは互いを思いやらなければならない。）

メッセージを一緒に言いましょう。「私が人々を喜んで助けるとき、私は神様にお仕えています。」

2

A 学ぼう・考えよう

ゲストを呼ぼう

事前に手配をして、教会の福祉会の会長に来てもらい、どのような働きをしているのか、その働きで教会員でない人たちをどのように助けているのか、子どもたちに話してもらいます。あるいは、奉仕活動をしている人を招いて、その活動内容や、お金がどのように使われているかを具体的に話してもらいましょう。そのうえで子どもたちに、何が自分にできるかを考えさせます。

質問：

- ① 「もし（ゲストの名前）さんが仕事をしていなかったら、どうなるでしょうか？」（教会がうまく働かない。教会員以外の人を助けることができない。）

- ②「教会が人々を助ける活動を行うために、みなさんはどんなお手伝いができるでしょうか？」(困っている人たちのために食べ物やお金を集める。献金をする。地域の人たちのためにお祈りする。)
- ③「どんな心構えで手伝いますか？」(喜んで積極的にできるように、神様が助けてくださると信じて手伝う。)

B 集めよう

準備する物：保護者への手紙

クラス全体の活動として、傷まない食べ物を集めて贈り物としてラッピングし、地域で困っている人たちに渡せるよう、計画を立てます。まずは、「〇〇の主旨で〇月〇日に食べ物を集めるので、提供していただけるものはありませんか」と、保護者をお願いする手紙を子どもたちに配ります。一人暮らしの人、病気の人、入院している人、ホームに入所している人など、子どもたちが訪問できる人々をあらかじめ探し出しておきましょう。福祉事務所やその他の団体を通して、困っている人たちの名前を調べます。また、カードを子どもたちに作らせてもよいでしょう。可能であれば、子どもたち自身が食べ物を届けるように計画します。

質問：

- ①「私たちはこの活動で、今週学んだのと同じようなことを計画していますが、どんなことをしようとしているのですか？」(パウロやテトスのように、困っている人たちのために食べ物を集めようとしている。)
- ②「困っている人たちのために食べ物を集めようという私たちの計画を、どう思いますか？」(おもしろそう。ちょっと不安。)
- ③「心から喜んで、進んでやろうという気持ちですか？」
- ④「みなさんが困っている人を助けるとき、だれか別の人も助けることになる、と聖書には書かれています。その別の人はだれですか？ マタイ 25：31－40 を読んでみましょう。」(イエス様。)

まとめ

メッセージをもう一度言いましょう。「私が人々を喜んで助けるとき、私は神様にお仕えしています。」

3 おわりに

ささげものをテーマにした賛美歌を歌いましょう。プレゼントの食べ物がうまく集まるように、そしてそれを受け取る人たちのためにお祈りします。

にげ出した青年

子どもたちに、
クリスチャンの奉仕は
家庭から始まるのだと教えます。
家で手伝いをしたいと感じさせ、
家の中で人に奉仕する方法を
探すように導きます。

フィレモン、
『患難から栄光へ』
下巻
148 - 152
ページ参照

■メッセージ■

私は家でイエス様にお仕えすることができます。

◆聖書で学ぶことの要約

異教徒で、奴隷だったオネシモは、主人であるコロサイのキリスト教徒、フィレモンを誤解して、ローマに逃げてきました。彼はパウロと知り合い、パウロから福音を教わります。オネシモはパウロの話に熱心に聞き、自分の罪を告白し、キリスト教徒になります。パウロは、オネシモが神様から特別な賜物を与えられていることに気づきます。パウロはオネシモに、主人のもとに戻ってゆるしを請い、これからも奉仕を続けるように、と諭します。パウロはフィレモンにあてた手紙の中で、オネシモがキリスト教徒になったことを告げ、オネシモが彼に負っている負債があれば自分が肩代わりすると申し出ます。また、奴隷としてのオネシモをゆるし、今度はキリストにおける兄弟として受け入れるように、と説きます。

◆ここでは、奉仕について学びます。

オネシモはかつて奴隷でしたが、パウロに出会い、神様と、神様の僕であるパウロの僕となります。パウロはオネシモに、主人のフィレモンのもとへ戻るように諭し、またフィレモンには、かつての奴隷をキリストにおける兄弟として受け入れるようにと促しました。このように、神様は私たちに、家庭や家族の中で互いに奉仕し合い、受け入れ合うようにと求めておられるのです。

暗唱聖句

「人にではなく主に仕えるように、喜んで仕えなさい。」
(エフェソ6：7)

◆指導される先生の参考のために

「新約聖書は奴隷制度を直接的に非難していないが、最終的にはこの制度に致命傷を負わせる原理原則について概説している。ローマ帝国の社会構造を考えると、パウロのやり方以上のことはできなかったであろう。彼は、キリスト教徒は自由であるという原理原則を一貫して公言し、奴隷制度の非人間性を人々に気づかせた。パウロはこのように、奴隷制度を直接攻撃するのではなく、人々を成長させ、啓蒙するという方法で、じっくり時間をかけて奴隷問題を解決しようという神のご計画を遂行したのである」(『SDA聖書コメンタリー』第7巻384ページ)。

◆教室の装飾

第1課を参照。

◆今週の歌

キッズフレンズ74
「主のためなら」



1 バイブル・レッスン

準備する物：紙、鉛筆（それぞれ子どもの人数分）

「パウロがフィレモンにあてた手紙は、新約聖書のフィレモンへの手紙の1節から25節にあります。じゃあみんな、パウロになったつもりで手紙を書いてみましょう。」

すべての聖句を子どもたちに割り当てます。25節目が当たった子どもは、最後にパウロの署名をしてもいいでしょう。全員が自分の担当の聖句を書けたところで、順番にそれを読ませます。

質問：

- ①「手紙をもらうとうれしいですか？」（はい。）
- ②「フィレモンはパウロの手紙を受け取ってどれくらいうれしかったでしょう？」
（答えを聞きます。）

「聖書にはフィレモンがどう思ったかは書いてありません。でも、オネシモがもう一度仕えるために元の主人の家に戻ったのは、本当に正しいことでした。イエス様は私たちに家で奉仕をしてほしいと思っておられます。先生と一緒にメッセージを言きましょう。」

「私は家でイエス様にお仕えることができます。」

2 A 学ぼう・考えよう

家で奉仕する

準備する物：膨らませた風船（子ども6～8人に1つずつ）

子ども6～8人に1つずつ、膨らませた風船を準備しておきます。グループごとに輪になり、その「家の輪」の中で、お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さんなどを決めさせます。「家の輪」の家族どうしで、風船を手渡しし合います。風船を渡すとき、相手に何か優しい言葉をかけさせましょう（親切なまみちゃんへ。元気なしょういち君に。ママは本当に料理が上手ね）。風船と優しい言葉を受け取った子どもは、風船をポンとたたき、別の家族の人に優しい言葉をかけながら風船を渡します。必ず全員に風船が渡るようにしてください。

質問：

- ①「『家の輪』の中で、優しい言葉と一緒に風船を渡されて、どんな気持ちがありましたか？」（うれしい。元気が出る。）
- ②「優しい言葉をかけながら自分の『家族』に仕えることについて、どう思いましたか？」（悪口を言いながら仕えるときより、ずっといい気持ちでした。）
- ③「今週のレッスンでは、家においてイエス様にお仕えるということを学びます。さて、パウロはどのようにしてオネシモを元の家に戻らせ、もう一度その主人に仕えさせたのでしょうか？」（家で仕えることが大切だから。イエス様にお仕える働きは、

まず家の中から始めなければならないから。)

- ④「みなさんが家で家族に仕えるために、優しい言葉を使うことの他にどんなことができますか？」(寝床の準備。おもちゃの片づけ。ペットのえさの世話。)

B 風船作戦

準備する物:膨らませていない風船、ペン(それぞれ子どもの人数分)、小さな紙切れ(たくさん)

「さあ、これから風船を使って、私たちの家族に仕える計画を立てましょう。」

子どもたち1人ひとりに膨らませていない風船を渡し、風船の表面に家族の名前を書かせます。続いて小さな紙切れに、それぞれの家族のために子どもたちができる奉仕の働きを書かせましょう(例えば、テーブルの準備。食器洗いの手伝い。おもちゃの片づけ。ペットの散歩)。その紙を風船の中に入れてから膨らませます。「風船をみなさんの家族に手渡ししましょう」と勧めてください。

質問:

「先生は風船を見ると楽しくなります。風船を見ながら、家族のために何をしてあげられるか考えるのって、楽しいですね。奉仕は人を喜ばせることですから、うれしい気持ちになるんです。」

- ①「みなさんは、そんな気持ちで奉仕したいと思っていますか？」(子どもたちが答えられるよう配慮してください。)
- ②「しなければならないから、というのではなく、うれしいから奉仕をしたい、という人は手を上げてください。」

メッセージをもう一度言いましょう。「私は家でイエス様にお仕えすることができます。」

3 おわりに

締めくくりとして、家で奉仕する計画を子どもたちが喜びの心で実行できるようにお助けください、と神様にお祈りします。



上着を持ってきてください

子どもたちに、神様は、
私たちが神様に仕える人たちを
助けるように望んで
おられることを教えます。
神様に仕える人たちを心から助けたいと
感じさせ、実際に牧師先生たちを助け、
励ます方法を探すように導きます。

テモテ 2・
1～4章、
『患難から栄光へ』
下巻
194 - 205
ページ参照

■メッセージ■

神様にお仕えしている人々を助けるとき、私も神様にお仕えしています。

◆聖書で学ぶことの要約

パウロがローマで牢屋に捕らえられていた時のことです。大勢の信者がパウロを見捨ててしまいました。テモテはエフェソの教会のために心を砕き、忠実に奉仕を続けていました。パウロはそんなテモテに会いたいと強く願い、テモテを迎えに人を送ることにします。テモテと再会する前に自分は死んでしまうかもしれないと思ったパウロは、「テモテへの手紙二」を書きます。パウロは、テモテが支えてくれたことを感謝し、彼に助言を与えます。また、友人たちによるしく伝えてほしいということ、パウロが必要としているものをローマへ持ってきてほしいということ、テモテに頼みます。

◆ここでは、奉仕について学びます。

テモテにあてた手紙の中でパウロは、聖職者として働いてきた間に、公私それぞれの面で助けてくれた人たちの名前を挙げています。私たち全員がみな、人を教え、説教する能力を持っているわけではありませんが、そのような働きをする人々を助けることならだれにでもできます。優しい言葉、ほほえみ、ちょっとした贈り物、必要なものを取ってくる（テモテ 2・4:13）によって、神様への奉仕に生涯をささげている人たちを喜ばせ、支えることができるのです。

暗唱聖句

「神は……神の名のために示したあの愛をお忘れになるようなことはありません。」

(ヘブライ 6 : 10)

◆指導される先生の参考のために

パウロの二度目の、そして最後の逮捕がどうしてなされたのかは分かりません。一度目にローマで投獄されたときには、さまざまな厚遇を受けました。しかし二度目の逮捕では、普通の罪人たちと同様に扱われ、鎖につながれました。ほとんどすべての人から見捨てられたパウロは、深い孤独と断絶の感情にさいなまれます。初期キリスト教の著者たちはみな、パウロはネロの命令によって死んだとしていますし、また、オステティア街道のどこかで首をはねられたと伝えられています。彼が死んだのは、西暦 66 年から 68 年の間でした（『S D A 聖書辞典』第 8 巻 856、857 ページ参照）。

「じめじめした寒い土牢に捕らえられていたパウロは、テモテに上着を持ってきてほしいと頼んだ。しかし、上着よりももっとほしかったのは、羊皮紙の書物だった。おそらくそれは、旧約聖書、福音書、自分の手紙の写し、その他の大切な文書のことであろう」（『ライフ・アプリケーション・バイブル』2135 ページ）。

◆教室の装飾

第 1 課を参照。

◆今週の歌

キッズフレンズ 79 「一人の手」

1

バイブル・レッスン

前もって、みんなが見える所に次の名前リストを書いておきます。

<ほう仕をした人>

- マルタ ・
- サムエル ・
- アロンとフル ・
- フィリピのかん守 ・
- シュネムの婦人 ・
- テモテ ・
- サレプタのやもめ ・

<ほう仕をしてもらった人>

- ・ エリヤ
- ・ パウロとシラス
- ・ エリシャ
- ・ エリ
- ・ パウロ
- ・ イエスさま
- ・ モーセ

子どもたちに以下の聖句を読ませ、だれがだれに奉仕したかを答えさせます（答えは聖句の後のカッコ内に示してあります）。そして、上のリストの対応する名前を線で結びましょう。

列王記下4：8－10（シュネムの婦人がエリシャに奉仕する）

サムエル記上3：1、4、5（サムエルがエリに奉仕する）

列王記上17：7－15（サレプタのやもめがエリヤに奉仕する）

テモテ2・1：2、4：9－13（テモテがパウロに奉仕する）

出エジプト記17：8－13（アロンとフルがモーセに奉仕する）

ヨハネ12：1、2（マルタがイエス様に奉仕する）

使徒言行録16：22、23、33、34（フィリピの看守がパウロとシラスに奉仕する）

質問：

- ①「もしみなさんがリーダーだったら、どんな気持ちがするでしょう？」（孤独を感じるときもある。疲れる。楽しい。悲しい。）
- ②「今読んだお話で、奉仕してもらった人たちは何が必要でしたか？」（エリヤはお腹がすいていた。エリシャは泊まる場所が必要だった。）
- ③「お話に出てきたリーダーたちは、みんな何か必要なものがありました。教会の役員の人たちを助けるために、みなさんはどんなことができるでしょうか？」（食事を差し入れる。教会の建物の掃除を手伝う。教会の行事を手伝う。自分の家に招いて、もっと親しく知り合う。感謝の気持ちを伝える。）

メッセージを一緒に言いましょ。「神様にお仕えしている人々を助けるとき、私も神様にお仕えしています。」

2 A 学ぼう・考えよう

体験を聞こう

現役、あるいは引退された牧師先生やその夫人を招いて、説教、訪問、聖書研究、祈祷会、理事会、会堂管理、近所づきあい、福祉活動、もてなし、人生相談、伝道、講演会などについてお話をさせていただきます。

1. なぜこの働きを選ばれたのか、あるいは、この働きをすることの喜びは何か、子どもたちにどんなことを望むか、といった点をお話に含めてもらいます。
2. 何人かの子どもたちに質問をさせ、答えていただきます。
3. 次に、これらの話を聞いて、自分たちが教会でできることはもっとないか、子どもたちに話し合いをさせます。そして各自カードに絵や文字で、自分のできそうなこと、していきたいことをかかせましょう。

質問：

- ①「神様のために教会で働く牧師先生やその他の人たちにお返しをすることで、私たちも神様にご奉仕できるのです。パウロの友人たちは、パウロにどんなお返しをしましたか？」(親しくする。友情。泊まる場所を用意する。宣教の手伝い。)
- ②「私たちの身近な所で、神様に奉仕している人たちを助けることができますか？」(バイブル・レッスンで出てきたことの他にアイデアがないか、考えさせます。)

B 牧師先生、ありがとうございます！

準備する物：木の棒（1本）、明るい色の布（約1メートル）、毛糸またはひも、はさみ、いろいろな色のマーカー、布地に描ける絵の具や、接着剤で塗布できるキラキラした粉

牧師先生のために横断幕を作ります。可能であれば、レッスンが終わる2、3分前に牧師先生に教室へ来てもらうように手配します。

布の上端7、8センチを折り曲げ、棒を通す部分を作るため、縫うかのりづけにして袋状にします。そこへ木の棒を通します。木の棒の両端に、適当な長さに切った毛糸またはひもを付けて、横断幕をつるせるようにしましょう。「〇〇牧師先生、わたしたちのために働いてくださり、ありがとうございます！」と大きな文字を布に書き、マーカーや布用の絵の具で文字を飾らせます。横断幕の下のほうに、「お祈りしています」と書いてもよいでしょう。また、子どもたちの手形と名前を添えるのもおもしろいかもしれません。キラキラした粉や絵の具でいろいろな飾りをさせてください。

牧師先生がレッスンの終わりにこられる場合は、全員が起立して歓迎し、横断幕を披露します。牧師先生の仕事について質問をしましょう。牧師先生がこられない場合は、教会でのお知らせの時間に横断幕を披露できるように手配してください。

質問：

- ①「牧師先生に感謝の横断幕を作っているとき、どんな気持ちになりましたか？」(楽しかった。牧師先生に感謝したい気持ち。)
- ②「牧師先生に感謝の気持ちを伝えるのに、他にはどんなことができますか？」(教会の掃除を手伝う。教会では静かにする。牧師先生の家族を食事にお招きする。) メッセージをもう一度言いましょう。「神様にお仕えしている人々を助けるとき、私も神様にお仕えしています。」

3**おわりに**

教会のリーダーの人たちをこれからも導いてくださるよう、また、子どもたちがリーダーたちを助けるためのよい方法を見つけられるよう、神様にお祈りします。



神様は約束を守ってくださいます

第5課

ゆるしの火

子どもたちに、神様は私たちがゆるし、
私たちの生活を変えてくださると
約束しておられることを教えます。
神様の愛と恵みによって
自分が変わったと感じさせ、
神様からのおゆるしを
求めるように導きます。

イザヤ6章、
『国と指導者』
上巻
268 - 275
ページ参照

■メッセージ■

神様の恵みによって私の罪はゆるされます。

◆聖書で学ぶことの要約

イザヤは、天の神殿に神様が座っておられるのを見ます。周りではセラフィムたちが、「聖なる、聖なる、聖なる万軍の主」と歌っています。神殿は神様の栄光で満たされ、入り口の敷居は揺れ動いています。すると、セラフィムの1人がイザヤの所に飛んできて、祭壇から取った炭火を彼の口に触れさせました。これは罪のけがれを除き、清めることを表す行動です。この恵みを受けたイザヤは、だれを使者にしようかという神様のみ声に、「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください」と答えます。

◆ここでは、恵みについて学びます。

神様は、イザヤの罪をすべて洗い流し、ゆるすと約束なさいました。神様は私たちにも同様のゆるしをお与えくださいます。それは、受け入れるすべての者にとって恵みの賜物なのです。

暗唱聖句

「彼はわたしの口に火を触れさせて言った。『見よ、あなたの……罪は赦された。』」

(イザヤ6:7)

◆指導される先生の**参考**のために

「高く天にある御座、そばにはべるセラフィムたち、そして三度繰り返される『聖なる』という言葉、これらのすべてが、神が神聖であることを強調している。……倫理や宗教心が墮落を極めた時代にあつて、イザヤが神聖さの中にある神を見たことには重大な意味があつた。神聖とは倫理的に完璧で、純粹で、どのような罪からも遠ざかっているということである。私たちも神の神聖さを今一度認識しなければならない。日々の苛立ち、社会的な重圧、あるいは私たちの不完全さのせいで、私たちが神を見る目は狭く、卑小なものになっている。私たちに必要なのは、聖書と同じ目で神を高く仰ぎ見ることであり、それによって、日々の問題や心配に取り組む力が与えられる。神が道徳的に完璧であることを正しく理解すれば、私たちの罪は清められ、心に抱えている問題も解決されて、私たちは礼拝し、奉仕することができるようになるのである」(『ライフ・アプリケーション・バイブル』1138、1139 ページ)。

◆教室の**装飾**

イザヤが見たもの(雲、セラフィム、祭壇、火鉢)を、「聖なる、聖なる、聖なるばんぐんの主」という言葉の下に飾りつけます。あるいは、大きな壺の切り抜きを作り、そこに子どもたちの名前を書かせます。これには「あなたはとう工」「わたしたちはねん土」という言葉を付けます。いろいろな形の陶器も教室いっぱい飾りましょう。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ9
「罪あるこの身を」



1 バイブル・レッスン

準備する物：紙（子どもの人数分）、筆記用具（鉛筆、マーカー、クレヨン）

イザヤ6：1－8を子どもたちに読ませ、イザヤが見た神殿の様子を把握させます。2、3節ごとに区切って、各々の場面の絵を描かせましょう。

質問：

- ①「今読んだ聖書の箇所で、神様はイザヤとお話をされました。みなさんは神様とお話したことがありますか？」（答えを聞きます。）
- ②「どんなふうにしてお話をしましたか？」（神様は聖書を通して私に話しかけてくださる。心の中で。教会のお説教や安息日学校で。体験したことを通して。お父さんやお母さんが教えてくれることを通して。）
メッセージと一緒に言いましょう。「神様の恵みによって私の罪はゆるされます。」

2 A 学ぼう・考えよう

きれいになって役に立とう

準備する物：白い洗面用タオル（1枚）、食紅（少々）、水で薄めた漂白剤を入れた透明な容器

タオルの上に食紅を数滴垂らし、次のように説明します。「イザヤは自分が悪い人間で、罪にけがれていると思っていました。自分は神様の役になんか立たないと思っていたのです。でも神様は、自分がイザヤの罪を洗い流してゆるすことができるのだということを彼に分かってもらい、そのうえで、神様の役に立ってほしいと思われたのです。」（漂白剤の入った水にタオルを漬けます。）

質問：

タオルを水から上げながら質問してください。

- ①「タオルのしみはどうになりましたか？」（消えてしまった。見えなくなった。）
- ②「タオルはまた使えますか？」（はい。）
- ③「このタオルと同じように、神様は恵みによって私たちをゆるし、清め、神様のために働けるようにしてくださいます。それを聞いてどんな気持ちになりますか？」（うれしい。感謝したい。）

「神様に罪をゆるしてほしいですか？ みなさんも神様のために働きたいですか？」メッセージと一緒に言いましょう。「神様の恵みによって私の罪はゆるされます。」

B ゆるしの本

準備する物：8×10センチの長方形に切った黒、赤、白の厚紙（それぞれ子どもの人数分）、筆記用具（鉛筆、マーカー）

子どもたちに厚紙を配り、以下の手順で「ゆるしの本」を作らせます。下から黒、赤、白の順に紙を重ね、ホッチキスで3枚を綴じます。子どもたちに、黒い紙に「つみ」、赤い紙に「イエスさまの血」、一番上の白い紙に「ゆるし」と書かせます。

まとめ

「この『ゆるしの本』をめくるたびに、イエス様の流された血がみなさんの罪を償い、みなさんの生活を雪のように清めてくださることを思い出してください。だれか、幸せでない人、苦しんでいる人、よくない習慣のある人、神様が私たちを愛し、ゆるしめてくださることを教えてあげなければならない人を知っていますか？（子どもたちの答えを待ちます。）そんな人にこの『ゆるしの本』を見せて、これがどんな意味を持っているのか、教えてあげてください。（もし神様がそうするようにとおっしゃったら、その人に『神様のゆるしを受け入れたいですか？』と聞いてみてください。）そして、その人と一緒に神様に感謝のお祈りをしましょう。こうすることでみなさんは、その人たちがメッセージを体験するのを手伝うことができるのです。」

メッセージをもう一度言いましょう。「神様の恵みによって私の罪はゆるされます。」

3 おわりに

神様のゆるしと恵みに感謝するお祈りで締めくくります。



神様は約束を守ってくださいます

第6課

もどった時間

子どもたちに、
神様はいつも約束を
守ってくださることを教えます。
神様は確実に約束を
果たしてくださるのだと感じさせ、
神様を信頼し、感謝するように
導きます。

イザヤ
38：1－21、
列王記下
20：1－11、
『国と指導者』
上巻
303－313
ページ参照

■メッセージ■

私は、約束を守ってくださる神様に、信頼することができます。

◆聖書で学ぶことの要約

ヒゼキヤが病に倒れたとき、神様は預言者イザヤにメッセージを託し、彼の命は残りわずかだとお知らせになりました。ヒゼキヤは、自分が神様に忠実だったことを思い出してくださいと一心に祈り、涙を流して大いに泣きます。すると神様は、イザヤにもう一度メッセージを託されました。「おまえの祈りを聞き、涙を見たので、命を15年延ばそう」というのです。そのしるしに、アハズの日時計の影を10度後戻りさせるとおっしゃいました。神様はこの約束をお守りになります。ヒゼキヤは回復し、祈りに応えてくださった神様に感謝を表す歌を書きます（イザヤ38：9－20参照）。

◆ここでは、恵みについて学びます。

神様がヒゼキヤの命を延ばすと約束してくださったことは、ヒゼキヤ、イザヤ、そして私たちへの、神様からの恵みの贈り物です。神様は私たちに、15年ばかりではなく、永遠に続く命を約束しておられるのです。はるか昔、ヒゼキヤとの約束をお守りになったように、神様は私たちとの約束も守ってくださいます。

暗唱聖句

「……主は約束なされたことを実現される……。」

(イザヤ 38 : 7)

◆指導される先生の**参考**のために

ヒゼキヤという名前は、「エホバは強められた」という意味です。ヒゼキヤはアハズ王の息子で、ユダの国の13代目の王となり、29年間在位しました。彼は名君で、神様の律法に従おうと努め、神殿を修復し、宗教儀式を復活させました。彼の治世、ユダは繁栄しました。彼の技術面での最大の功績は、エルサレムの街に水を引くためにシロアム・トンネル（533メートル）を掘ったことです。ヒゼキヤの病がいやされたという奇跡によって、彼は周りの人々に神様の恵みを証しすることができました。カルデアを治めていたメロダク・バルアダン、何が起こったのかを確かめるために使者をよこしました（『SDA聖書辞典』484 - 486 ページ参照）。

翻訳によっては、イザヤ 38:8 に出てくる日時計が「階段」になっています。これは、次のように解釈することも可能だと思われます。「沈みかけた太陽が再び戻ってくるというしるしは、死に瀕していた人間の寿命が延ばされるということをやうまく象徴するにふさわしい。……『アハズの日時計』は、私たちが考えるような形のものではなく、アハズが神殿の囲いの西面に作った『王の入り口』へ通じる（おそらく専用の）階段として使われていたもので（列王記下 16:18）、太陽が沈むと水平方向の影が階段を登り、時間を表していた」（『インタプリターズ・バイブル』第5巻 373、374 ページ）。

◆教室の**装飾**

第5課参照。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ3

「キリストは来たりたもう」



1 バイブル・レッスン

準備する物：プラスチックの石鹸入れ、または小さな箱（子どもの人数分）、筆記用具（マーカー、鉛筆）、聖書の参照箇所のリスト、小さな紙片

聖書に出てくるいやしについての約束を紙にリストアップします（イザヤ 38：5、6 に書かれている項目を必ず含めます。この他に、ヨブ記 5：18、エレミヤ 30：17、マラキ 3：20、イザヤ 53：5、出エジプト記 15：26、黙示録 21：4 など）。子どもの人数分になるように、聖句の箇所を何度も繰り返し紙に書き、1つずつばらばらになるよう、できたリストを短冊状に切り分けます。子どもたちにその短冊を1枚ずつ取らせ、読みたいと申し出た子どもにそれぞれの聖句を読ませましょう。それぞれの聖句の意味は何か、みんなで話し合います。続いて、子どもたちに、各自が取った短冊の聖句を紙片に書かせ、準備しておいた石鹸入れ（または小さな箱）に入れさせます。この先2回のバイブル・レッスンの活動で、さらにこの箱の中身を増やし、今月最後の安息日まで大事にこれを使います。

質問：

- ① 「神様が私たちにしてくださった約束について、どう思いますか？」（心強い。心配事がなくなった。）
- ② 「今日学んだのは、病気を治すというお約束です。みなさんは、病気になったことがありますか？」（はい。）
- ③ 「自分が病気のとき、どうしましたか？」（ずっと寝ていた。薬を飲んだ。神様にお祈りした。）
- ④ 「体の病気以外のものを治さなければならないこともあります。どんなものでしょう？」（罪。他の人の言葉や態度で傷ついた心。）

「病気の時や心配事のある時は、神様のお約束を思い出しましょう。神様はみなさんに約束してくださっているのですから、必ず守ってくださいませ。」

メッセージを一緒に言いましょ。「私は、約束を守ってくださる神様に信頼することができます。」

2 A 学ぼう・考えよう

約束した時のこと

神様と約束をした時のことを子どもたちに話してもらいます。「神様がしてくださった約束が、本当に守られた時のお話をしてください」と言います。なかなか思いつかない子どもには、「神様はみんなを危ないことから守り、必要なものをくださる、と約束しておられますよ」と促します。「普段当たり前と思っているもの（食べ物、お父さん、お母さん、先生、新鮮な空気、動物、植物）でも、神様がくださったものがあります。そのようなものを考えてごらんください」とアドバイスしてください。

質問：

「神様は、聖書の中でたくさんの約束をしてくださり、それを全部守ってくださいます。神様が今度は何をしてくださるのか、見てみるのが楽しみです。」

- ①「みなさんなら、心配事をずっと抱えているのと、神様のお約束を信じるのとどちらにしますか？」(神様のお約束を信じる。)
- ②「それはどうしてですか？」(心配していても悪くなるばかりだし、神様は絶対約束を守ってくださるから。)

B 神様のお約束を分かち合う

準備する物：紙（子どもの人数分）、カラーのマーカー

「今日学んだ神様のいやしの約束のどれかを、教えてあげたい人がいないでしょうか。みなさんの周りに、病気の人、心配事のある人はいませんか？ 考えてみてください。その人のことを考えながら、さまざまな色のマーカーを使って、教えた約束を紙に書きましょう。虹みたいにしてもいいですね。その人の名前も書いてください。」

子どもたちに、自分が選んだ神様の約束を読んでもらいます。

質問：

「だれかに神様のお約束の話をするのは、どんな気持ちですか？」(うれしい。ちょっと不安。)

「その人に、メッセージも忘れずに教えてあげましょう。メッセージをもう一度一緒に言いましょう。」

「私は、約束を守ってくださる神様に信頼することができます。」

3 おわりに

神様は約束を守ってくださる、という内容の賛美歌を歌いましょう。子どもたちがみな、神様と神様のお約束を信頼できるように助けてください、とお祈りします。



ねん土のつぼ

子どもたちに、
 神様はみんなの未来について
 計画を持っておられることを教えます。
 神様のみ手の中は安心だと感じさせ、
 神様を信頼し、神様が最善だと
 思われるとおりに形造って
 いただけるように導きます。

エレミヤ
 18：1-6、
 『ミニストリー・
 オブ・ヒーリン
 グ2005』
 478 - 480
 ページ参照

■メッセージ■

神様は、み手の中で私を形造ってくださいます。

◆聖書で学ぶことの要約

エレミヤは神様に命じられて、ろくろで作業をしている陶工のもとを訪れます。陶工は粘土で壺を作っていました。しかし、気に入らないところがあったので、陶工は壺を壊して作り直します。神様は、エレミヤにこう話されます。イスラエルは神様の手の中にあり、神様はこの国を自分の考えに合うように造り直す力を持っているのだ、と。

◆ここでは、恵みについて学びます。

私たちは罪でけがれていますが、神様のみ手に素直に身をゆだねれば、神様はご自分にかたどって私たちを造り変え、私たちの生活をみ旨にかなったものに変えてくださると約束しておられます。私たちを形造るという神様のお働きは、私たちが生まれる前から始まり、私たちの一生を通して続くのです。私たちをりっぱな器にするためです。

暗唱聖句

「主よ……わたしたちは粘土、あなたは陶工／わたしたちは皆、あなたの御手の業。」

(イザヤ 64：7)

◆指導される先生の**参考**のために

陶工の寓話は、「ヨヤキムの治世の初期に書かれたと推定され、神が国家に君臨されることを説いたものである。神は粘土（ユダの国）に対して絶対的な力を持ち、その国をよい器にするために働き続けている。しかし、ユダの国自身がすぐに悔い改めなければならない。さもなければ、形の悪いまま粘土は固まってしまうからだ。そうになると、もうどうしようもない。悪い器は割って壊すしかないのである。

陶工がろくろで粘土を形作る際、うまくいかないことが時折ある。陶工は粘土に対して力を持っており、悪い部分を許容するか、作り直すかは彼の一存で決まる。同じように、神は国家を自分の目的に合うように造り直す力を持っておられる。しかし私たちは、粘土のように何も考えず、ただ受け身にしていけばよい、というものではない。そうではなく、神が私たちにしてくださることに喜んで応じなければならないのである。私たちが神のみ心に従うとき、神は私たちをりっぱな器に造り変えてくださるのだ」（『ライフ・アプリケーション・バイブル』1278 ページ）。

◆部屋の**装飾**

第5課を参照。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ 39
「主は私の元気の素」



1 バイブル・レッスン

準備する物（先週用意したのと同じ）：プラスチックの石鹸入れ、または小さな箱（子どもの人数分）、筆記用具（マーカー、鉛筆）、聖書の参照箇所のリスト、小さな紙片

6人の子どもたちに、エレミヤ 18：1－6を1節ずつ読んでもらいます。「聖句の中に神様のお約束のようなものが含まれていませんか？」と尋ねます（例えば、6節）。子どもたちに出てきた約束を紙片に書かせ、石鹸入れ（または箱）の中に入れてさせます。来週のバイブル・レッスンでも、同じことをして神様のお約束を増やします。今月最後の安息日まで、石鹸入れ（または箱）を大切に取っておいてください。

時間が許せば、粘土が出てくる他の聖句も読ませましょう。例えば、次のような箇所があります。

イザヤ 29：16 哀歌 4：2 テモテ 2・2：20

イザヤ 45：9 ローマ 9：21

これらの聖句の意味を説明します。

質問：

- ① 「先週学んだ神様のお約束は、病気を治すことでした。今週学んだお約束は何ですか？」（私たちは神様のみ手の中であって、陶器職人が粘土を形作るように、神様が私たちを形造ってください。）
- ② 「みなさんは、どうして神様に自分を形造ってもらいたいと思うのですか？」（神様は、私の生活がどのようになれば一番よいかをご存知だから。）
- ③ 「みなさんに何かとても困ったことが起こったとき、何を思い出しますか？ 答えはメッセージですね。」

メッセージを一緒に言いましょう。「神様は、み手の中で私を形造ってくださいます。」

2 A 学ぼう・考えよう

私はだれ？

準備する物：安価で割ってもよい陶器（皿またはコップ）、乾いて固くなった粘土、新しい柔らかな粘土、ビニールのマットまたはパラフィン紙

陶器の皿またはコップを割り、「破片をつなげて元に戻してごらんください」と子どもたちに言います。

続いて、乾いて固くなった粘土でコップを作ってみるように、子どもたちに言い、次に、新しい柔らかい粘土でやってみるよう言いましょう。

質問：

- ① 「固い粘土と柔らかい粘土と、どちらがコップを作りやすいですか？」（柔らかい粘土。）

- ②「固い粘土はどうでしたか？」(やりにくかった。)
- ③「固い粘土と柔らかい粘土は、私たちとどういうところが似ていますか？」
次のように話をしてください。

●**固い皿またはコップ**：思い込みで自分はこうなりたいという姿を決めてしまっている。頑固。わがまま。強情。自分のほうが神様よりよく分かっていると思いついでいる。

●**乾いて固くなった粘土**：他の人に心が開いていない。お父さんやお母さんの言うことを聞かない。勉強やお祈りをしない。神様が聞いてほしいと思っておられることに耳を傾けない。

●**柔らかい粘土**：お祈りをする。神様を賛美する。神様の声に耳を傾ける。自分がほしいものを手に入れようとするよりも神様が自分の人生のために立ててくださった計画を知ろうと努める。自分でなりたいと思う姿よりも、神様が自分にふさわしいと思われる姿にしてもらいたいと願う。

- ④「神様のみ手の中で、みなさんは固い粘土と柔らかい粘土のどちらになりたいですか？」(柔らかい粘土。)

B 特別なもの

準備する物：粘土（子どもの人数分）

子どもたちに粘土でコップまたは飾り板を作らせます。それをだれかにプレゼントさせ、イエス様は陶器職人で、私たちが特別なものにしたいと願っておられることを、その人がコップ（または飾り板）を見て思い出せるようにしましょう。

質問：

- ①「粘土でものを作って楽しかったですか？」(はい。)
- ②「神様がみなさんに働きかけておられるとき、神様はどんなお気持ちでしょう？」
(楽しいことも悲しいこともある。)
- ③「みなさんが今作ったものをだれにあげるか、決めましたか？」
- ④「手渡すとき、何と言いますか？」

ここで、子どもたちに静かに祈る時間を与えます。自分の命を神様にささげますから、神様の思われるとおりに形造ってください、とお願いさせます。コップ（または飾り板）を受け取る人のためにも、お祈りしましょう。

メッセージをもう一度言いましょう。「神様は、み手の中で私を形造ってくださいます。」

3 おわりに

締めくくりとして、神様のお導きに関する賛美歌を歌いましょう。

力強い建築者たち

子どもたちに、
神様は恵みによって私たちに力を与え、
神様がお命じになることを
実行できるようにしてくださると教えます。
恵みの力で自分も神様に従うことが
できると感じさせ、神様の力によっていつも
み心のおりに自分をささげるように導きます。

ネヘミヤ記
1-4章、6章、
『国と指導者』
下巻
230-236、
254-261
ページ参照

■メッセージ■

神様は、私がみ心を行うことができるように、恵みと力
を与えてくださいます。

◆聖書で学ぶことの要約

ネヘミヤは、ペルシアの王に仕えたユダヤ人です。彼は、エルサレムに戻ったユダヤ人たちがたいへん苦勞していることを知ります。ネヘミヤは神様に祈りました。すると神様は、ネヘミヤ自らがエルサレムに行き、城壁と城門を修復するようにお命じになったのです。アルタクセルクス王は、ネヘミヤが悲しんでいることに気づき、どうしたのかと尋ねます。このとき、神様がネヘミヤを助けてくださり、王にどう願ひ出ればよいかを教えてくださいました。ネヘミヤがエルサレムに着くと、敵たちが彼の仕事を妨害しようとします。しかし、神様がネヘミヤに知恵と勇気をお与えになり、ネヘミヤは妨害者たちを無視し、仕事を完成することができたのです。

◆ここでは、恵みについて学びます。

神様の恵みによって、私たちはすべての物事をみ心に従って行う力を得ます。「人間の意志が、神の意志と協力すると、どんなことでもできるようになる。神がお命じになったことは、神の力によって完成することができる。神のお命じになることはどんなことでも、成しとげることができるのである」(『キリストの実物教訓』307ページ)。

暗唱聖句

「……神の御手がわたしを守ってくださったので、王はわたしの願いをかなえてくれた。」

(ネヘミヤ記2：8)

◆指導される先生の**参考**のために

「常に前進している人の信仰は弱らない。彼は、上にも下にも前方にも、神のみこころに従ってすべてのものを備えて下さる、無限の愛の神を認めるのである。神の真のしもべたちは、恵みの座に常により頼んでいるから、くじけることのない決意をもって働くのである。」

神は、われわれ人間の力ではどうにもならない、あらゆる緊急事態に対する助けを準備しておられる。神はあらゆる苦境の助けに聖霊を与えて、われわれの希望と確信を強化し、われわれの知性に光を与え、心を純潔にして下さるのである。彼は機会を与えて、働く道を開かれる。もし神の民が、神の摂理の指示するところを見守り、神と協力する準備をしているならば、彼らは大いなる結果を見ることであろう」(『国と指導者』下巻 261 ページ)。

◆教室の**装飾**

第5課を参照。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ 37
「主のパワー」



1 バイブル・レッスン

質問：

「ネヘミヤと仲間たちがエルサレムの城壁を直すのに何日かかったか、覚えていますか？」(52日。)

「これほど大掛かりな仕事を仕上げるには、実に短い時間ですね！ どうしてこんなにすごいことができたのか、聖書を読んで調べてみましょう。」子どもたちにネヘミヤ記6：15、16を朗読させます。

「じゃあ今度は、人々が何かを作ろうとしていたのに、その仕事が完成しなかったお話を読んでみましょう。」創世記11：1－9を開き、一緒に読みます。

質問：

- ①「バベルの塔はどうして完成しなかったのでしょうか？」(塔を造っていた人たちは、神様のみ心にそむき、自分たちのほうが神様よりも、すごいことができると思ったから。)
- ②「みなさんは、どちらの人たちと一緒に働きたいですか？ バベルの塔を造っていた人たちですか、それともネヘミヤの仲間たちですか？」(ネヘミヤの仲間たち。)
- ③「それはどうしてですか？」(神様が助けてくださるから。)
- ④「たいへんな仕事をしなければならぬとき、みなさんはどうしますか？」(助けてくださるよう、神様に願います。)
メッセージを忘れないようにしましょう。
「神様は、私がみ心を行うことができるように、恵みと力を与えてくださいます。」

2 A 学ぼう・考えよう

ある日いじわるになった友だち

次のお話を子どもたちに読み聞かせます。

「弘君にとって太一君は、もともと明るくて気持ちのよい友だちでした。ところがある時から、太一君は別の友だちの言うことを聞いて、弘君をいじめたり、からかったりするようになったのです。そして、いまだに太一君はつっぱっています。弘君はこんなことを早く終わりにしたいと思っています。太一君も、実は弘君に意地悪をしていることを悔やんでいるのですが、そのことをあやまる勇気がありません。太一君はこのことをお父さんとお母さんに話し、三人でお祈りをしました。」

質問：

- ①「太一君は何をしなければならぬのでしょうか？」(ゆるしてください、と弘君に願います。)
- ②「ゆるしてくださいと願うことは、神様が太一君にしてほしいと願っておられることですか？」(はい。)

- ③「ゆるしてくださいとお願いすることは、やさしいことですか？」(いいえ。)
- ④「神様は、しなければならぬことができるように、どうやって太一君を助けてくださいますか？」(太一君に勇気を与え、どう言えばいいかを教えてください。太一君のごめんなさいを、弘君が受け入れられるように助けてくださる。)
- ⑤「とても難しいことをしなければならぬとき、みなさんは何を思い出しますか？」(神様が勇気を与えてくださり、何とせばいいか、どうすればよいかを教えてください。)
- メッセージを一緒に言いましょう。「神様は、私がみ心を行うことができるように、恵みと力を与えてくださいます。」

B ミニチュアの城壁を作る

準備する物:石鹼の空き箱を開いたもの(展開図の状態、子どもの人数分)、セロテープ、ガムテープ、ダンボール箱(大小さまざま)、画用紙(できれば淡いレンガ色)、鉛筆、マジック

子どもたち全員に石鹼箱の展開図を渡し、それを型紙にして画用紙にいくつも箱の展開図の縁取りをさせ(鉛筆で)、切り抜いて組み立てさせます。さらに、セロテープでそれをとめて、箱を作らせましょう(レンガになります)。そのレンガの1つひとつに、イザヤ、ネヘミヤ、ヒゼキヤのお話を思い出しながら、「いやし」「恵み」「あわれみ」「ゆるし」「知恵」「力」など、神様のご性質をマジックペンで書かせます。全員のレンガを集めたら、ダンボール箱の側面を利用して、これで城壁を作らせましょう。作業をしながら、ネヘミヤたちが忍耐強く築いて完成させたことを話して聞かせるのもいいかもしれません。

メッセージをもう一度言いましょう。「神様は、私がみ心を行うことができるように、恵みと力を与えてくださいます。」

3 おわりに

締めくくりとして、「神様のみ心に従えるように、恵みと力によって私たちを強めてください」とお祈りします。



神様は約束を守ってくださいます

第9課

神様は約束を守られる

子どもたちに、
 聖書の預言が実現してきたことを示し、
 神様は約束をお守りになることを教えます。
 約束を守ってくださる神様の
 み言葉は信頼できると感じさせ、
 神様の約束をもっと
 学ぶように導きます。

ミカ 5：1、
 マタイ 2：6、
 イザヤ 53 章、
 マルコ 15：22 -
 39、使徒言行録
 1：9 - 11、
 『各時代の希望』
 上巻 283 - 302
 ページ参照

■メッセージ■

神様は約束を守られます。なぜなら聖書の預言は、必ず
 そのとおりになるからです。

◆聖書で学ぶことの要約

旧約聖書には、イエス様のご誕生と地上でのご生涯に関する預言が記されており、新約聖書には、これらの預言の成就が記録されています。例えば、ミカ 5：1 にはイエス様のお生まれになる場所が預言され、マタイ 2：1 にはその成就が記されています。またイザヤ 52：13 - 53：12 には、イエス様のご生涯が、神様と人間のために苦難を負うしもべとして預言されており、4つの福音書はこの預言の成就を克明に記しています。このような成就によって、神様が約束を守ってくださることを私たちは確信できるのです。

◆ここでは、**交わり**について学びます。

聖書の中の実に多くの約束が成就してきました。ですから私たちは、神様は約束を守ってくださる、と確信することができます。イエス様は再び地球にこられる、と父なる神様が約束なさるとき、これまでに成就してきた約束同様、私たちはこの約束も信じることができるのです。

暗唱聖句

「……あなたたちの神、主があなたたちに約束されたすべての良いことは……すべてあなたたちに実現した。」

(ヨシュア 23 : 14)

◆指導される先生の**参考**のために

エマオへの途上の旅人に対して、「キリストは……聖書全体を通じて、ご自身に関する事柄を解説された。もしキリストが最初にご自分を彼らにお知らせになったら、彼らの心は満足してしまっただであろう。よろこびのあまり、彼らはもう何も求めなかったであろう。彼らは、旧約の型と預言を通して、キリストについてたてられているあかしを理解する必要があった。これらのものの上に彼らの信仰が築かれねばならない」(『各時代の希望』下巻 333 ページ)。「アダムの時代から世の終わりにいたるまで、父祖たちと預言者たちを通して語られるのは、キリストのみ声である。救い主は、新約聖書と同じようにはっきり旧約聖書の中にあらわされている……キリストの奇跡は、その神性の証拠である。しかし、イエスが世のあがない主であるというもっと強力な証拠は、旧約の預言を新約の歴史に照らしあわせることの中に見いだされる」(同 334 ページ)。

◆教室の**装飾** (掲示板の装飾に関するいくつかの案)

第5課を参照。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ 11

「みんなで輝く日が来る」



1 バイブル・レッスン

準備する物：聖書、ダニエル2章の巨大な像の絵、年号が書ける長い紙

下記の年号を長い紙（食器棚に敷く紙などがよいでしょう）に書いておきます。

年号 600BC_500BC_400BC_300BC_200BC_100BC_イエス_100AD_200AD_300AD_400AD_500AD

数人の子どもたちを選んで、ダニエル2：31－35を朗読させます。

「神様がこの預言をダニエルに告げたのは、イエス様がお生まれになる500年以上も前のことでした。さあ、年表を使って、この預言が成就した年に印を付けてみましょう」と説明します。以下のことが起こった年を子どもたちに教え、年表上に印を付けさせます。

- バビロン、メド・ペルシアに滅ぼされる ⇒ 539BC
- メド・ペルシア、ギリシア（アレクサンダー大王）に滅ぼされる ⇒ 331BC
- ギリシア、ローマに滅ぼされる ⇒ 146BC
- ローマ人の支配終わる／王国の分裂 ⇒ 476AD
- 神の王国の実現 ⇒ ?

「最後の預言はまだ実現していませんね。さあ、ダニエル2：44の言葉を紙に書いて、みなさんの約束の箱（または石鹸入れ）に入れましょう。」（今日、この箱を持って帰れることを知らせます。）

まとめ

「ダニエルの他の預言は、神様がおっしゃったとおりに実現しましたね。では、最後の預言もそのとおりにになると信じていいのでしょうか？」（はい。）

メッセージを一緒に言いましょう。「神様は約束を守られます。なぜなら聖書の預言は、必ずそのとおりになるからです。」

2 A 学ぼう・考えよう

分かち合いの時間

「みなさんは、今朝目が覚めましたよね？ そして今、息をしていますね？ 今朝、朝ご飯を食べましたか？ 夕べの晩ご飯はどうですか？ 神様は、私たちに必要なこのようなものをすべて与えてくださると約束しておられます（フィリピ4：19）。」では聖書を開いて、神様のお約束が書かれている箇所を調べてみましょう。

詩編37：4（願いをかなえる） ヨハネ5：24（永遠の命）

ヨハネ6：35（心の必要） 詩編91：11（守り） マルコ9：23（可能性）

質問：

「神様は、みなさんにどんな約束をし、それを守ってくださっていますか？」

子どもたちに十分な時間を与え、この質問の答えになるような個人的な経験を話してもらいます。そのとき、次のように質問をして手伝ってあげましょう。

(1) 聖書に書かれている神様のどんな約束のお話をするのですか？（テーマをはっきりさせる）

(2) 神様は、その約束をどのように守ってくださったのですか？

＜約束の例＞ 惜しめない祝福 (マルコ 9 : 23) 祈りへの応え (マルコ 11 : 24)

難問の解決 (ルカ 17 : 6) 霊的に満たされる (ヨハネ 6 : 35) 心の光 (ヨハネ 12 : 46) 大きな業を行う力 (ヨハネ 14 : 12) 神の子となる資格 (ヨハネ 1 : 12)

救い (ローマ 1 : 16) 永遠の命 (ヨハネ 5 : 24)

質問：

- ① 「今までに神様が助けてくださった時のことを話すと、どうして未来について不安がなくなるのでしょうか？」(これからも神様は助けてくださると思えるから。)
- ② 「聖書のさまざまな預言は 神様がどのようなお方だということを示しているのでしょうか？」(約束を必ず守ってくださるお方。)

B 預言の絵本

準備する物：紙、筆記用具（クレヨン、マーカー、鉛筆）、はさみ、のり

「神様の預言がどのように成就してきたかを学んだら、神様を信じるようになる人が周りにいませんか？ その人に、聖書には神様がこうなるとおっしゃったことが、後でそのとおりになったお話がたくさん書いてあるんです、と教えてあげることができます。」このような人たちと一緒に読める本を、子どもたちに作らせましょう。

4枚の紙を半分に折り、1枚の紙で2ページ（見開き）ができるようにします。子どもたちに以下の手順で作業させます。

1. ミカ 5 : 1 を最初のページに書き、向かいのページに幼子のイエス様の絵を貼るか、または描きます。
2. 2枚目の紙の最初のページにイザヤ 53 : 12 下句を書き、向かいのページに十字架上のイエス様の絵を貼るか、または描きます。
3. 3枚目の紙の最初のページに使徒言行録 1 : 11 を書き、向かいのページに雲に乗ってやってくるイエス様の絵を貼るか、または描きます。
4. 4枚目の紙には、約束の箱（または石籟箱）に入れたのと同じ約束を書き、それらを表す絵を添えます。作った本をだれと一緒に読むつもりか発表させましょう。

質問：

「今日学んだことから、神様が約束を守ってくださるかどうか、みなさんはどれくらい信じられるようになりましたか？」(絶対の確信。)

メッセージをもう一度言いましょう。「神様は約束を守られます。なぜなら聖書の預言は、必ずそのとおりになるからです。」

3 おわりに

締めくくりとして、神様のお約束に関する賛美歌を歌いましょう。



礼拝によってイエス様への愛を分かち合います

第10課

話せなくなった男

子どもたちに、
神様のすばらしさをみんなに話すことは、
神様を礼拝することなのだと教えます。
神様のすばらしさを
人前でたたえたいと感じさせ、
今週何かについて神様を
賛美するように導きます。

ルカ
1 : 5 - 23、
57 - 80、
『各時代の希望』
上巻
95 - 100
ページ参照

■メッセージ■

私が神様のすばらしさと愛を人々に語る時、私は神様を礼拝しています。

◆聖書で学ぶことの要約

ザカリアが聖所で祭司のお勤めをしていると、天使がやってきて、彼と妻のエリサベトに男の子が生まれ、その子はイエス様の伝道の働き先駆けとなるだろう、と告げます。しかし、ザカリアはその言葉を信じる事ができなかつたので、口がきけなくなってしまう。子どもが生まれたとき、ザカリアは天使に言われたとおり、その子の名前はヨハネにする、と主張したので、神様はザカリアを再びしゃべることができるようにしてくださいました。ザカリアは大勢の人の前で、息子を誕生させてくださった神様の奇跡をたたえる歌を歌います。

◆ここでは、**交わり**について学びます。

神様が私たちにしてくださいましたすばらしいことを他の人に話すことも、礼拝行為の1つです。大勢の人の前で、私たちが神様の祝福を喜び、賛美することを、神様もお喜びになります。

暗唱聖句

「ほめたたえよ、イスラエルの神である主を。主はその民を訪れて解放……された。」

(ルカ 1 : 68、69)

◆指導される先生の参考のために

「ザカリアは、だれよりも早く、神が地上を訪れるための準備を始められたことを知らされた。……ザカリアは、救い主がおいでになるという知らせを正面から受け止められず、天使が約束した子供の父となる資格は、自分にはないのではないかという疑いをあらわにしてしまった。……このため、約束が現実となる時まで、神はザカリアをしゃべれなくさせたのである」(『ライフ・アプリケーション・バイブル』1739 ページ)。

「何か月間もしゃべれなかったザカリアは、しゃべれるようになるやいなや神様を賛美した。この歌は、導入部分の言葉のラテン語訳にちなんで『ベネディクトゥス』と呼ばれているが、その中で彼は、主の民を解放する救い主がおいでになることを預言し、また自分の息子ヨハネが救い主の道備えをするのだと預言している。旧約聖書の預言はすべて実現されようとしていた。ザカリアが神を賛美したのも当然であったと言えよう！」(同 1742 ページ)。

◆教室の装飾

イエス様がお生まれになる場面を、紙で等身大の大きさに作ります。

掲示板に関する2つの案：

- ① 「イエスさま、わたしたちはあなたを礼拝します。」という言葉を書き紙に書いて貼り、お祈りする子どもたちのシルエットに生徒1人ひとりの名前を書いて飾ります。
- ② あるいは、「イエスさま、あなたは心の王さまです。」という言葉を書き紙に書いて貼り、大きな王冠をたくさんのハートが取り囲むように飾ります。ハートには、「〇〇王子」「〇〇王女」というように、子どもの名前を書きましょう。

◆今週の歌

キッズフレンズ 61

「わたしのよう」

1 バイブル・レッスン

「ザカリアの歌は、ルカ1：67－79にあります。聖書を開いて、ザカリアの歌を探してみましょう。」そして、次のような質問を子どもたちにします。

質問：

- ①「ザカリアの歌は2つの部分に分かれています。67－75節はだれを賛美していますか？」(神様)
- ②「76－79節は、だれの働きについて書かれていますか？」(ヨハネ)
- ③「私たちには歌を作ることができないかもしれませんが、どうすれば神様を賛美できますか？」(メッセージを繰り返して言う。)

メッセージと一緒に言いましょう。「私が神様のすばらしさと愛を人々に語る時、私は神様を礼拝しています。」

2 A 学ぼう・考えよう

神様を賛美しよう！

ザカリアは、神様を礼拝するために特別な歌を歌いました。これは、何か月もしゃべれなかったザカリアが再びしゃべれるようになって初めて口にした言葉です。ですから、彼にとって本当に特別な言葉だったに違いありません。その歌を少し変えてみんなで言ってみましょう。

「ほめたたえよ、(教会の名前)の神である主を。主は(神様を賛美する言葉を何か入れます)された。」

質問：

- ①「みんなと一緒に神様を賛美するのは、難しかったですか？」(難しくなかった。)
- ②「ザカリアは、自分がどれだけ神様を愛しているか、みんなに知ってほしいと思いました。みなさんも同じことをしているのです。でも人間は、神様を忘れてしまうことがよくあります。神様の悪口を言うことさえあります。そんなとき、神様はどう思っているのでしょうか？」(悲しい。さびしい。)

まとめ

「そんなとき、私たちはどうすればいいでしょう？ そう、答えはメッセージですね。」

B 「よい知らせ」新聞

準備する物：新聞紙、筆記用具（クレヨン、マーカー）、いろいろな形・色・大きさの紙

「神様の愛を他の人たちと分かち合うには、いろいろな方法があります。今日教会に来ていない人たちは、私たちが学んだことをまだ知りません。ですから、『よい知らせ』新聞を作って、その人たちにあげましょう。」

子どもたちに、「(文字または絵)なので、わたしはイエスさまを愛しています。」と、好きな紙の上にかかせます。それを新聞紙に貼りつけ、でき上がったその「よい知らせ」新聞を、教会のロビーや掲示板に飾るよう手配をします。

まとめ

「『よい知らせ』新聞を作ることも、みんなに神様のすばらしさと愛を伝える方法ですね。これからの1週間でメッセージを実行するには、他にどんなことをすればいいでしょうか？」(神様が自分にしてくださったことの絵をカードに描いて、近所の人に配る。老人ホームに行つて賛美歌を歌う。困っている友だちと一緒に祈りする。病気の人に聖書を読んであげる。)

メッセージをもう一度言いましょう。「私が神様のすばらしさと愛を人々に語るとき、私は神様を礼拝しています。」

3

おわりに

締めくくりとして、『フレンズ』93番「やさしい神様」を歌います。次に、子どもたち1人ひとりが勇気を持って、神様のすばらしさと愛を周囲の人に話すことができますように、とお祈りしましょう。





礼拝によってイエス様への愛を分かち合います

第 11 課

話したくて待ちきれない！

子どもたちに、
自分は神様を愛していると
人々に知らせることも、
礼拝の一部であると教えます。
自分が神様を愛していることを
だれかに話したいと感じさせ、
その愛を周囲の人に伝えるように導きます。

ルカ
1 : 26 - 56、
『各時代の希望』
上巻
31、32
ページ参照

■メッセージ■

私が神様への愛を人々に語る時、私は神様を礼拝しています。

◆聖書で学ぶことの要約

天使ガブリエルはマリアのもとを訪れ、マリアの人生に関する神様のご計画を告げます。マリアはイエス様の母親になるということです。マリアは戸惑うと共に感激します。ガブリエルは、マリアの親戚で高齢のエリサベトも子どもを産むであろうと語ります。マリアがエリサベトの家を訪れると、「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています」とエリサベトは言って、マリアを歓迎しました。マリアは美しい賛美の言葉でこれに応えます。

◆ここでは、**交わり**について学びます。

マリアにもエリサベトにも、神様を賛美する理由がたくさんありました。そこで2人は、お互いのすばらしい知らせを分かち合い、礼拝の行為としたのです。「マグニフィカト」と称されるマリアの賛歌は、神様に対する彼女の愛を語り、すばらしいことをしてくださる神様をほめたたえた歌です。「マグニフィカト」は、今日もなお世界中の人々に靈感を与えています。

暗唱聖句

「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。」

(ルカ 1 : 46、47)

◆指導される先生の**参考**のために

『ダビデ家の』(ルカ 1 : 27) という表現が……マリアとヨセフのどちらを指すのかについては、さまざまな意見がある。節の後半で 'virgin' (異性を知らない) という言葉が繰り返される様子は、これはマリアよりもむしろヨセフを指していることを暗示する。いずれにせよ、ヨセフがダビデの子孫であることは、ルカ 2 : 4 にはっきりと述べられている。しかし、マリアも『ダビデ家の』者であった(マタイ 1 : 16、ルカ 1 : 32)。イエス様が文字通り『肉によればダビデの子孫から生まれ』(ローマ 1 : 3) たというのは、マリアを通してのことであった。マリアがダビデの子孫であることは、ルカによる福音書 1 : 32、69 によれば、当然のこととされているように思われる。これらの箇所も、また聖書のこれ以外の部分も、マリアがダビデを先祖と呼ぶことができなければ、力も意味も非常に弱くなってしまおうであろう(『SDA聖書コメンタリー』第5巻 679、680 ページ)。

◆教室の**装飾**

第 10 課参照。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ 118

「すばらしいもの」



1 バイブル・レッスン

子どもたちに次の聖句を探させ、ザカリア、マリア、ヨセフに天使が訪れた時のことを覚えてもらいます。メッセージを受け取ったのはだれか、どんなメッセージだったのか、という2点を子どもたちに質問しましょう。

●聖句	●受け取った人	●メッセージの内容
ルカ1：8－13	ザカリア	妻のエリサベトが男の子を産むので、ヨハネと名付けなさい。
ルカ1：26－31	マリア	あなたに男の子が生まれるので、イエスと名付けなさい。
マタイ1：18－21	ヨセフ	恐れずにマリアと結婚しなさい。

質問：

- ① 「もしみなさんの所に神様が天使を送ってこられて、メッセージをくださったとしたら、どうしますか？ どんな気持ちになるのでしょうか？」(最初はこわいと思う。とても愛されているのだと思う。わくわくする。だれかにそのことを話したくなる。)
- ② 「みなさんが神様に、『神様を愛していますよ』というメッセージを送ったら、神様はどう思われるでしょう？」(うれしい。)
- ③ 「みなさんが他の人に、『私は神様を愛しているんです』とお話ししたなら、神様はどう思われるでしょう？」(それもとてもうれしい。)
「マリアは、天使がやってきた後、そうしましたね。」
メッセージを一緒に言いましょう。「私が神様への愛を人々に語る時、私は神様を礼拝しています。」

2 A 学ぼう・考えよう

伝えてください！

子どもたちを輪にならせます。「この活動の目的は、横の人から聞いた言葉をそっくりそのまま次の人に伝えることです」と説明しましょう。まず先生が、神様への愛を表す言葉を最初の子どもの耳もとでささやきます。「私はだれよりもイエス様が好きです」「神様は、本当に優しいお方です」「イエス様は私の一番のお友だちです」といった言葉がよいでしょう。子どもたちはささやき声で、そのメッセージを順々に次の子どもへ伝えていき、最後の子どもは、受け取ったメッセージを大きな声で先生に報告します。

質問：

- ① 「次の人にメッセージを伝えるのは楽しかったですか？」（はい。）
- ② 「メッセージはちゃんと伝わりましたか？ それとも間違っていましたか？」
（答えを聞きます。）「私たちが、神様への愛を他の人たちに伝えると、今度はその人たちがまた別の人に同じことを伝えますから、神様のすばらしさはすぐに大勢の人に伝わるでしょう。これも神様を礼拝する方法の1つなのです。」
- ③ 「みなさんは、自分が神様を愛していることについて、何か他の人にお話しできることがありますか？ それはどんなことですか？」（できるだけ多くの子どもが発表できるようにしてください。）

B 天使のしおり**準備する物：しおりサイズのカード、筆記用具（クレヨン、マーカー、鉛筆）**

前もって、しおりにするカード、筆記用具を用意しておきます。しおりに天使の絵を描き、色を塗らせましょう。裏側には、自分たちがイエス様を愛していることについてのメッセージを書かせます。

質問：

- ① 「天使の仕事は何ですか？」（神様のメッセージを伝えること。）
- ② 「他にだれが神様のメッセージを伝えることができますか？」（私たち。）
「今作ったしおりを、だれか神様の愛についてお話ししたい人にプレゼントしましょう。だれにあげるか決まった人は、教えてください。病気の人、おじいちゃん、引っ越してきたばかりのお友だちに手紙を書いて入れるのもいいですね。神様を愛することについてみなさんが書いたメッセージを読めば、その人も神様を礼拝したくなるかもしれませんよ。」
メッセージをもう一度言いましょう。「私が神様への愛を人々に語る時、私は神様を礼拝しています。」

3 おわりに

子どもたちが、よい時、よい場所で天使のしおりをプレゼントすることができるように、みんなで心を合わせてお祈りします。





礼拝によってイエス様への愛を分かち合います

第12課

あなたにも聞こえますか？

子どもたちに、
お説教や賛美歌を聞いているとき、
みんなは礼拝しているのだ
ということを教えます。
イエス様の福音をもっと聞きたいと感じさせ、
お説教や賛美歌を注意深く聞くことで
主をもっとよく知るよう導きます。

ルカ
2：1－14、
『各時代の希望』
上巻
29－34
ページ参照

■メッセージ■

私がイエス様の福音に耳を傾けると、私は神様を礼拝
しています。

◆聖書で学ぶことの要約

ある夜、羊飼いたちが羊の番をしていると、突然主の天使が1人現れて、彼らを驚かせました。天使は「恐れるな」と言い、イエス様がお生まれになったこと、そしてどこに行けばイエス様が見つかるかを教えに来たのだ、と告げます。するとこれも突然に、天使の大軍が、「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ」（ルカ2：14）と歌いだしたのです。

◆ここでは、**交わり**について学びます。

羊飼いたちは、イエス様がお生まれになったことを告げる天使たちに耳を傾け、神様を礼拝しました。同じように、私たちは教会や家族の礼拝、あるいは聖書研究会で、イエス様に関するよい知らせを聞くことができます。イエス様について学ぶことも、礼拝行為の1つです。こうして、イエス様と私たちの関係が深まると同時に、福音を人々に伝える準備がなされるのです。

暗唱聖句

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」

(ルカ 2 : 14)

◆指導される先生の**参考**のために

「ユダヤ国民はキリストがアブラハムの後裔（こうえい）としてダビデの家系からお生れになることの証人としてとっておかれたのであった。それなのに彼らはキリストの来臨が間近に迫っていることを知らなかった」（『各時代の希望』上巻 31 ページ）。

「ベツレヘムの丘の上空には無数の天使の群れが集っている。彼らはよろこびのおとずれを世に宣伝してもよいとの合図を待っている。もしイスラエルの指導者たちが義務に忠実だったら、イエスの誕生を布告するよろこびにあずかることができたのである。しかしいま彼らは無視される」（同 32 ページ）。

「イエスの誕生は、野の羊飼いたちに告げられた。彼らは、罪がゆるされることを表す儀式でいけにえに使われる羊を神殿に納めていた者たちであったかもしれない。天使たちはこの羊飼いたちに、全世界の罪を永遠に拭い去ってくださる神の小羊（ヨハネ 1 : 29）をお迎えするように、と招いたのである」（『ライフ・アプリケーション・バイブル』1743 ページ）。

◆教室の**装飾**

第 10 課参照。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ 93
「きよしこのよる」



1

バイブル・レッスン

子どもたちに、イエス様の誕生にまつわるルカ2：1-7のお話を読ませます。

質問：

- ①「イエス様がお生まれになる前、聖書ではイエス様のことをどのように書いていますか？ ヨハネ1：1-3、14を読んでみましょう。」
- ②「私たちの造り主であるイエス様は、どうして私たちの世界にお生まれになったのでしょうか？」マタイ1：21を朗読します。

まとめ 質問：

- ①「自分が生まれる前に世界を造ったなんていう赤ちゃんの話を、みなさんは聞いたことがありますか？」（ありません！）
- ②「みなさんの造り主である神様は、みなさんを本当に愛しておられます。みなさんをサタンから守るためにいろいろなことをしてくださいました。このよい知らせにもっと耳を傾け、もっと学ぶことも、神様を礼拝する1つの方法です。どうしてでしょう？」（このような愛について学べば、神様をもっと賛美したくなるから。）
「私たちはみんな、できる限りたくさん学びたいと思っていますよね。」
メッセージを一緒に言いましょう。「私がイエス様の福音に耳を傾けると、私は神様を礼拝しています。」

2 A

学ぼう・考えよう

耳を傾ける計画

準備する物：紙、鉛筆（人数分）、ホワイトボード、ホワイトボード用のマーカー

前もって、「イエスさまのお話をよく聞いて学ぶために今週すること」というタイトルを記した紙を用意しておきます。

子どもたちに、イエス様に関するよい知らせを学ぶ方法を挙げてもらいます。ホワイトボードに、子どもたちの答えを書き出しましょう（答えの例：教会に行く。家族で礼拝する時間を持つ。聖書を学ぶ……など）。次に、「イエスさまのお話をよく聞いて学ぶために今週すること」と書かれた紙を子どもたちに1枚ずつ配り、そこに絵や文章で自分の考えを書かせます。イエス様についてもっと学びたいという気持ちを表すために、一番下に自分の名前も書かせてください。

質問：

- ①「今紙に書いたことをもう実行している人はいますか？ みなさんは、イエス様に関するよい知らせを聞けるチャンスがたくさんあって本当によかったですね。できる限りたくさん聞いて学びましょう。これは、みなさんに永遠の命を与えてくれる特別な知らせなのです。」
- ②「多くの人がイエス様のよい知らせを分かち合っているのに、それをよく聞いていないお友だちがいます。どうしてなのでしょう？」（おもちゃや遊びなど、他のことに気を取られているから。イエス様よりも好きなものがあるから。）

- ③「安息日学校や教会で、よい知らせが分かち合われているとき、みなさんはどうしますか？」(耳を傾けてよく聞きます。)

B すばらしいメッセージ

準備する物：色の濃い工作用厚紙、小さい絵筆、紙コップ（人数分）、スプーン、水、塩、オーブン

色の濃い工作用厚紙、絵筆、塩水（小さじ1杯分）の入ったコップを、全員に1つずつ配ります。今日、子どもたちはイエス様についてのよい知らせを聞きました。子どもたちに、「イエス様がお生まれになった場面を描きましょう」と言います。絵筆を塩水につけてよくかき回してから、厚紙に絵や文をかかせます。暗唱聖句も加えましょう。子どもたちが作業している間に、オーブンを70度に加熱しておきます。できあがった絵（文）を約5分間、乾くまでオーブンで暖めます。かいたものが、色の濃い紙の上にキラキラする結晶となって現れます。安息日学校でオーブンが使えない場合は、保護者の監督のもとで乾かす指示を書いたプリントを渡して、厚紙を持ち帰らせましょう。

質問：

- ①「先生が絵の具ではなくて塩水を配ったとき、どう思いましたか？」(おかしいと思った。)
- ②「自分の描いたものが変化して、びっくりしましたか？」(はい。)
- ③「羊飼いたちは天使からメッセージを聞いたとき、どう思ったでしょう？」(とても驚いた。)
- ④「みなさんがその羊飼いだったとしたら、どう思ったでしょうか？」(びっくりした。感激した。)

「その夜、天使は羊飼いたちにすばらしいメッセージを届けました。羊飼いたちはびっくりしましたが、耳を傾け、そのすばらしい知らせを他の人たちにも伝えたのです。みなさんは、イエス様に関するよい知らせを他の人たちに伝えられるように、気をつけて聞いていますか？ 今日作ったすばらしいピカピカのメッセージを家に持って帰り、だれかイエス様のことを伝えたい人にプレゼントしましょう。」

メッセージをもう一度言いましょう。「私がイエス様の福音に耳を傾けるとき、私は神様を礼拝しています。」

3 おわりに

みなさんのお話を聞いた人が、神様と一緒に礼拝したいと思ってくれますように、とお祈りしましょう。



礼拝によってイエス様への愛を分かち合います

第13課

その喜びを伝えなさい

子どもたちに、イエス様のお誕生を
喜ぶ気持ちを語ることでイエス様を
礼拝できると教えます。
イエス様が私たちを救いに
来てくださることに喜びを感じさせ、
イエス様のお誕生の意味を
みんなに話すよう導きます。

ルカ
2：15-20、
『各時代の希望』
上巻
33 - 36
ページ
参照

■メッセージ■

私がイエス様のことを喜んで人々に語るとき、私は神様を礼拝しています。

◆聖書で学ぶことの要約

天使たちが天に帰った後、羊飼いたちはさっそくベツレヘムに向かい、そこで飼い葉桶の中にいる幼子イエスを見つけます。その目でイエス様を見た羊飼いたちは、天使たちや幼子イエスについて自分たちが体験したことを人々に語ります。その話を聞いた人は、だれもが驚きました。マリアはこれらの出来事をすべて大切にし、心の中で思い巡らします。

◆ここでは、**交わり**について学びます。

羊飼いたちは、天使たちの訪問によって神聖になった場所を離れ、天使たちがほめたたえたその人を自分の目で確かめるために出かけました。私たちもまた、自分の目と耳でイエス様を知る礼拝をし、そうすることで得たものを他の人々に広めなければなりません。

暗唱聖句

「……羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。」

(ルカ 2 : 17)

◆指導される先生の**参考**のために

「今日、天と地は、羊飼たちが天使たちの歌をきいた時よりも広いへだたりがあるのではない。人類はいまもなお、普通の職業についている普通の人たちが昼間天使たちと会い、ぶどう園と畑で天の使者たちと語った時と同じに、天の関心のまとである。人生の平凡な世渡りをしているわれわれにとって天は非常に近いことがある。天の宮廷からの天使たちは、神が命じられるままに動きまわる人たちの歩みにつきそうであろう」(『各時代の希望』上巻 34, 35 ページ)。

「こんなにすばらしい誕生の知らせがあるだろうか！……羊飼いたちはまずその嬰兒を見に駆けていき、それからその知らせを広めたのである。イエスはあなたのメシア、あなたの救い主なのだ。毎日、お祈りやみ言葉の中でイエスにお会いするのを楽しみにしているだろうか？ 主のすばらしさに気づき、友だちにその喜びを分かち合わずにはいられない、という経験をあなたはしているだろうか？」(『ライフ・アプリケーション・バイブル』1743 ページ)。

◆教室の**装飾**

第 10 課参照。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ 94 「まきびとひつじを」

1

バイブル・レッスン

準備する物：赤ちゃんのカード（5枚）、黒板またはホワイトボード、チョークまたはマーカー

前もって、それぞれの赤ちゃんのカード（62 ページ）に、次の人名と聖句の箇所を書いておきます。

- イサク (創世記 21 : 1 - 3)
- モーセ (出エジプト記 2 : 1 - 3、10、6 : 20)
- サムエル (サムエル記上 1 : 20)
- ヨハネ (ルカ 1 : 57 - 66)
- イエス (ルカ 2 : 16、マタイ 1 : 21)

また、みんなの見える所に、以下の表も書いておきます。

〈お母さん〉	〈赤ちゃん〉
ハンナ ・	・ モーセ
ヨケベド ・	・ イエス
エリサベト ・	・ イサク
マリア ・	・ サムエル
サラ ・	・ ヨハネ

赤ちゃんのカードを子どもたちに回し、「特別な目的のために神様が遣わされた赤ちゃんは、イエス様の他にだれがいますか？」と尋ねます。子どもたちに、カードの「赤ちゃん」に書いてある聖句を朗読させましょう。それぞれの赤ちゃんの生涯に、神様がどんなことを計画されたのか、話し合います。

質問：

「どの赤ちゃんがどのお母さんから生まれましたか？」赤ちゃんとお母さんをつなぐ線を書き込みましょう。

まとめ

「この中でも、イエス様が一番大きな目的のために遣わされました。それは、すべての人を罪から救う、という目的です。イエス様が生まれてくださったからこそ、みなさんの未来は明るいのです。この話を他の人にもしたくありませんか？ 天使たちはものすごく感激していたので、イエス様のお誕生の知らせを人々に告げるのを待ちきれませんでした。」

質問：

「他の人にイエス様のお誕生を伝えるために、みなさんにはどんなことができますか？」（そのことを歌にして歌う。お話をする。お話を書く。）

メッセージを一緒に言いましょう。「私がイエス様のことを喜んで人々に語る時、私は神様を礼拝しています。」

2 A 学ぼう・考えよう

登場人物になったつもりで

準備する物：イエス・キリスト誕生のシーン（絵本、イラスト付き聖書物語）

ロバ、マリア、ヨセフ、幼子イエス、羊、羊飼い、天使を、それぞれ指差します。子どもたちにどれか選ばせ、その登場人物になったつもりで、イエス様のお誕生を説明させます。最後に、その子自身にとってイエス様のお誕生がどんなことを意味するか、話してもらいましょう。

質問：

- ①「どうして他の人たちにもイエス様のお誕生の話を伝えなければならないのでしょうか？」
- ②「自分が他の人たちにそのお話をすることについて、どう思いますか？」
- ③「どんな方法で他の人たちにイエス様のお誕生の話を伝えますか？」（「イエス様に

ついて今まで学んだことをどうやって他の人と分かち合うか、自分の考えを説明してごらんください」と促してください。

B イエス様お誕生のお知らせ

準備する物：紙、筆記用具（クレヨン、マーカー、鉛筆）

可能であれば、子どもたちがイエス様のお誕生の喜びを分かち合えるような企画（歌、詩、スキットなど）を準備します。

紙と筆記用具を用いて、友だちにプレゼントできるような「イエスさまおたんじょうのお知らせ」を作らせます。お知らせには以下の項目を必ず含めてください。

だれが？ 幼子イエス	どんな方？ 救い主
どこで？ ベツレヘム	何のため？ 全世界を罪から救うため。
なぜ？ 神様が計画されたから。	
いつ？ 聖書には書かれていないので、クリスマスの時期にお祝いをしています。	

質問：

- ①「お知らせをだれにプレゼントしますか？」（答えを聞きます。）
- ②「イエス様のお誕生について、どんなお話をしますか？」（答えを聞きます。）

まとめ

「イエス様のお誕生について話をするとき、どう語ったらいいか教えてください、とお祈りしましょう。イエス様のお話を喜んでできそうですか？」

メッセージをもう一度言いましょう。「私がイエス様のことを喜んで人々に語る時、私は神様を礼拝しています。」

3 おわりに

締めくくりとして、「ロンドン橋落ちた」のメロディーで、以下の歌詞を歌います。歌いながら手振り・身振りを加えてください。

かみさまは (上を指差す)	わたしを (自分を指差す)	とつても、とつても (手をたたく)	かみさまは (上を指差す)
わたしを (自分を指差す)	あいしてくださる (手をたたく)	かみさまは (上を指差す)	あなたを (隣りの人を指差す)
とつても、とつても (隣りの人の肩をたたく)	かみさまは (上を指差す)	あなたを (隣りの人を指差す)	
あいしてくださる (隣りの人の肩をたたく)	かみさまは (上を指差す)	みんなを (両腕を広げて両隣の人の肩をたたく)	
とつても、とつても (みんなで手をつなぐ)	かみさまは (上を指差す)	みんなを (両腕を広げる)	あいしてくださる (両腕を広げて両隣の人の肩をたたく)

「イエスさまといっしょ 聖書物語9」 解答・ヒント集

第1課 わたしたちの家においでください！

1. 問題の通りにしてください。
2. ①2 ②1 ③テント
3. ローマ皇帝がすべてのユダヤ人をローマの町から追い出したから。
4. 聖書、教養
5. 63 ページに解答があります。 もてなしじょうず

第2課 福音を伝える人

1. ①コリント ②決してしない、なか直りさせる ③マケドニア
2. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：コリントの教会員が、パウロの送った手紙におこっていないかどうか。)
3. みんなでいっしょに話し合しましょう。
4. みんなでいっしょに話し合しましょう。

第3課 にげ出した青年

1. パウロ (福音を伝えた人) ↔ (福音を伝えられた人) フィレモン
フィレモン (主人) ↔ (めし使い) オネシモ
2. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：オネシモを兄弟のように大切に扱ってほしい。)
3. みんなでいっしょに話し合しましょう。
4. 63 ページに解答があります。

第4課 上着を持ってきてください

1. 問題の通りにしてください。
2. ×、○、×、○、×、×、×
3. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：若いころ、クリスチャンにひどいことをしたから。)
4. みんなでいっしょに話し合しましょう。

第5課 ゆるしの火

1. ①へや、祭だん、炭 ②羽、セラフィム ③ばん軍、栄光 ④メッセージ、だれ、わたし
2. みんなでいっしょに話し合しましょう。(例：イザヤの罪を取り去るため。)
3. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(例：神様は、人間の自由な考えを大切になさるから。)
4. めぐみ

第6課 もどった時間

1. ヒゼキヤ王 → 高熱の出る病気
 預言者イザヤ → 2つのメッセージ
 日時計のかげ → 10度後もどり
 きせき → 法そくを変えること
 天国 → 死のない世界
2. みんなでっしょに話し合しましょう。
 (答えの一例：ヒゼキヤ王のことからわかるように、病気で死ぬ人が神様に忠実でないとは言えない。人間はみな、自分の役割が終わったときに死ぬ。)
3. みんなでっしょに話し合しましょう。
 (答えの一例：私たちはみんな、天国でまた会えます。)
4. 63 ページに解答があります。 はれもの

第7課 ねん土のつぼ

1. (D) (A) (C) (B)
2. みんなでっしょに話し合しましょう。
3. みんなでっしょに話し合しましょう。
4. わたしたちは、あなたは、御手、業

第8課 力強い建築者たち

1. ①ハナニ ②アルタクセルクセス王
2. みんなでっしょに話し合しましょう。
 答えの一例：ネヘミヤが王のためにいつも忠実に働いていたから。神様が王の心に働きかけられたから。
3. みんなでっしょに話し合しましょう。
 答えの一例：私たちはできるかぎりのことをすべきだから、ネヘミヤの考えに賛成。
4. 63 ページに解答があります。 52 日

第9課 神さまは約束を守られる

1. ①ベツレヘム ②700 ③羊かい ④あやまち、そむいた者
2. みんなでっしょに話し合しましょう。
 (答えの一例：子孫が星の数ほど増えるという、アブラハムに与えられた約束。エリコの城壁は必ず落ちるといふ、ヨシユアに与えられた約束。)
3. みんなでっしょに話し合しましょう。
4. イエス様が地球にもどってこられて、私たちが天国へ連れて行ってくださるといふ約束。

第10課 話せなくなった男

1. 2、6、1、3、5、4

2. 天使の言葉をすぐに信じなかったから。
3. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：天使〈神様〉の命令に従ったから。)
4. みんなでいっしょに話し合しましょう。

第11課 話したくて待ちきれない！

1. ガブリエル
2. 天、エ、マ、天、マ、エ
3. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：謙遜な人。自分のことを「主のはしため」と呼んでいるから。)
4. みんなでいっしょに話し合しましょう。

第12課 あなたにも聞こえますか？

1. 羊を野じゅうから守るため。
2. 民全体、大きな喜び、救い主、主メシア
栄光、平和、人
3. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：この羊飼いたちは、救い主がおいでになることをいつも心から待ち望んでいたから。)
4. 63 ページに解答があります。 べつれへむ

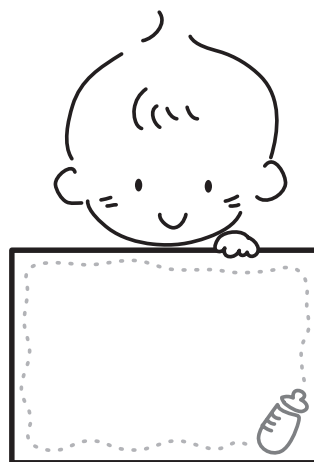
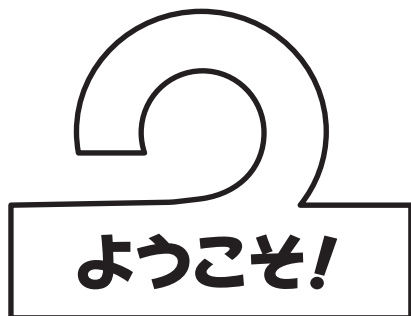
第13課 その喜びを伝えなさい

1. ①ぬの、おけ ②みんなに ③ふしぎに
2. 「どんな未来が待ち受けているのでしょうか？」
「神のみ子をどのようにお育てすればよいのでしょうか？」
3. みんなでいっしょに話し合しましょう。
4. 5、1、2、6、4、3

●参考資料●

1課 2B

13課 1



イエスさまといっしょ 聖書物語9 教師用

■発行 福音社

〒190-0011 東京都立川市高松町 3-21-8 042-526-7342

■発売 アドベンチスト・ブックセンター

■印刷 株式会社 高陽印刷所

■日本語版発行 教団安息日学校部

2006年4月1日 乱丁本・落丁本はお取り替えいたします。本書の一部あるいは全部に
初版発行 ついて、著作者から文書による承諾を得ずにいかなる方法においても
2015年4月1日 無断で転載・複写・複製することは固く禁じられています。

第2版発行

新共同訳聖書および口語訳聖書からの聖句引用については日本聖書協会の承認を受けています。

うたってみよう 主をたたえよ

作詞・作曲 城間健造

C Em/B Am Em/G F

か みは イエスをつかわされ — — ちのひとを

G7 G C Am F

すくわれた — つみあるものをきよめる ために

F G7 C

— じゅうじかに かかられ — た —

C F G7 G Am

主をたたえよ 主をたたえよ 主をたたえ

F G7 C

よ 主をたたえよ — —

キッズフレンズ117番



名前

福音社